

北海道議会時報

昭和58年第4号 第2回定例会



(表紙写真説明)

ハリエンジュ (ニセアカシア)

北アメリカ原産、樹高は20 mに達し、樹皮は暗灰色、枝にはとげがあり、葉は奇数羽状でだ円形、花は白色の蝶形花、房を垂らし芳香がある。

第2回定例会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	12
意 見 案	15
請 願・陳 情	20

委員会 の 動 き

議会運営委員会	21
常 任 委 員 会	29
特 別 委 員 会	36
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
予算特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	47
都道府県議会議員共済会	48
北海道・東北6県議会議長会	48

資 料

第2回定例会において議決を経た条例 の公布調	49
道内主要政党及び道議会内各派役員一 覧	50

6・7月のメモ

議 会 日 誌

▶ 6 月

- 1 日 (水) 各常任、石炭対策特別各委員会
 22 日 (水) 議会運営委員会
 28 日 (火) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、公害対策特別各委員会
 29 日 (水) (第 2 回定例会開会)
 議会運営委員会
本会議 (会期決定<25日間>、道政執行方針及び提案説明、教育行政執行方針、意見案 1 件可決)

▶ 7 月

- 5 日 (火) 議会運営委員会
本会議 (代表質問<1人>)
 6 日 (水) 議会運営委員会
本会議 (代表質問<1人>)
 8 日 (金) 議会運営委員会
本会議 (代表質問<2人>、一般質問<1人>)
 9 日 (土) 議会運営委員会
本会議 (日程延期)
 12 日 (火) 議会運営、総務各委員会
本会議 (一般質問<2人>)
 13 日 (水) 議会運営委員会
本会議 (一般質問<6人>)
 14 日 (木) 議会運営委員会
本会議 (一般質問<3人>)
 15 日 (金) 議会運営委員会
本会議 (一般質問)
 16 日 (土) 議会運営委員会
本会議 (一般質問<4人>)
 18 日 (月) 議会運営委員会
本会議 (一般質問<1人>)
 19 日 (火) 議会運営委員会
本会議 (一般質問)
 20 日 (水) 議会運営委員会
本会議 (一般質問<2人>、予算、企業会計決算各特別委員会設置)
 予算、企業会計決算各特別委員会
 (正副委員長の互選、予算第 1・第 2

各分科会設置)

予算第 1・第 2 各分科会 (正副委員長の互選)

21 日 (木) } 予算第 1・第 2 各分科会 (各部所
 22 日 (金) } 管審査)

23 日 (土) 議会運営委員会
 予算第 1・第 2 各分科会 (各部所管審査)

本会議 (会期延長<2日間>)

25 日 (月) 議会運営、各常任、石炭対策特別、北方領土対策特別、公害対策特別、予算第 1 分科会 (各部所管審査)、予算特別 (総括質疑、意見調整)、企業会計決算特別各委員会

本会議 (各委員長報告、補正予算等可決、追加提案説明、公安委員会委員・方面公安委員会委員・監査委員・人事委員会委員・収用委員会委員及び公害審査会委員選任同意、意見案 6 件可決、請願審査)

(第 2 回定例会閉会)

26 日 (火) 各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別各委員会

第2回定例会

963 億 974 万円の補正予算可決

▶ 知事の政治姿勢について論議集中 ◀

概 要

- ① 改選後、最初の政策予算等を審議する第2回定例会は6月29日招集され、今期定例会の会期を7月23日までの25日間と決定の後、総額962億6,469万円の補正予算等32件が上程され、知事から道政執行方針及び提案説明、教育長から教育行政執行方針に関する説明を行い、「昭和58年産生産者米価等に関する要望意見案」を可決して、議案調査のため6月30日から7月4日まで休会した。
- ② 休会あけの7月5日から代表質問に入り、7月7日は、知事が夕張新炭鉱問題で上京のため休会、翌8日に代表質問を終えた。同日、引き続き一般質問に入ったが、護国神社例大祭及び市町村等の慰霊祭の取り扱いに係る民生部長通知をめぐって審議が中断、7月12日に至り知事が補足答弁を行って審議が再開された。
- ③ 7月13日は、4,504万円の補正予算・昭和57年企業会計決算など9件の追加提出案件が上程され、知事から提案説明の後、一般質問を継続、20日によりやく一般質問を終結し、予算及び企業会計決算両特別委員会を設置の上、議案の各委員会付託を行い、各委員会付託議案審査のため7月21日から22日まで2日間休会した。
- ④ 予算特別委員会は、7月20日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置の上、21日から補正予算等に対する各部所管審査に入り、第1分科会は25日、第2分科会は23日に質疑を終結、25日に各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、意見調整の結果、全会一致原案可決と決定した。
- ⑤ 本会議再開日の23日は、会期を25日まで2日間延長することに決定。会期最終日の25日は、昭和58年度補正予算等に対する予算委員長報告及び各付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果いずれも原案可決。次に、公安委員会等の人事案件等6件が追加提案され、知事から説明の後、いずれも同意議決又は原案可決。次に、「夕張地域振興対策に関する要望意見案」など6意見案を原案可決の後、請願1件を委員会決定のとおり採択。次に、報告第26号ないし第32号（昭和57年度企業会計決算）の閉会中継続審査並びに閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第26号ないし第32号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来27日目の7月25日午後9時12分閉会した。
- ⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況				計
		原案可決	同意議決	継続審査	報告のみ	
知 事	72	35	5	7	25	72
議 員	7	7	—	—	—	7
計	79	42	5	7	25	79

本 会 議

○6月29日（水） 午前10時5分開議、三上勇議長、昭和58年第2回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今定例会の会期を、本日から7月23日までの25日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第32号を議題とし、知事から、道政執行方針及び提出議案に関する説明並びに教育長から、教育行政執行方針に関する説明の後、

日程第4 意見案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。次いで、議案調査のため6月30日から7月4日まで5日間休会、7月5日再開することに決定して、午前11時1分散会。

○7月5日（火） 午前11時20分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第32号を議題とし、代表質問に入り、

吉田 政一議員（自民）から、

- ① 知事の公約・道政執行方針に対する政治姿勢に関し、選挙応援と道民党の立場との関係及び真意、平和の実現・憲法の遵守の政治理念と道政との関係に対する見解、平和と憲法に対する自治体としての役割及び権能、道政の改革に対する基本的考え、経済自立化のための具体的政策、バイ・ホッカイドウ運動の意味と意図、地域複合型産業及び複合的な都市機能の整備に対する発想の考え方、道庁を市町村連合の事務局とする発想の真意、公約に関連した道政執行上の見解、サミットの意味、市町村サミットのみならず地域住民との対話の必要性、自治体外交の意味、北方領土返還運動に対する所信と社会党の主張に対する見解、外務公務員の派遣要請についての社会党への説明内容とこの制度に対する評価、非武装中立に対する考え、自衛隊の役割りと

国土防衛の基本的認識、行政改革実現に向けての所信、新線建設・ローカル線廃止問題に係る国会での発言と公約との関係、景気対策における公共投資と減税との効果に対する所見、公共投資と本道経済の係わりに対する所見、護国神社への参拝拒否と道民への対応に対する見解、北炭夕張の再開発問題に関連した出張先での行動に対する考え、予算編成の基本方針に対する見解、長期総合計画における新計画の性格及び計画策定作業の進め方、長期展望基礎調査と計画策定との関連に対する基本的考え

- ② 景気対策に関し、公共事業の必要性、景気浮揚のための現状認識と将来展望
- ③ 夕張炭鉱の再建問題に関し、日本石炭協会及び通産大臣に対する道の基本的考え方と取りまとめの経緯、国に対する具体的提案と国の政策責任との関係、道の出資基準の有無、道の基本的考え方に対する道民の理解への対処の考え、今後の再建方策、再建されない場合の対処策、離職者の雇用対策
- ④ 59年度開発予算要求に関し、開発予算の要望と発展計画との整合性、苫小牧東部・石狩湾新港など大規模プロジェクトの取り扱いに対する考え、公共事業の確保に対する所信、直轄事業負担金の取り扱いに対する考え方
- ⑤ 農業問題に関し、農作物の育成状態と今後の営農技術指導の進め方、第3期水田利用再編対策に臨む基本姿勢、現在策定中の農業発展方策を第3期対策へ反映させる考え、昭和58年生産者米価決定に向けての状況判断と取り組み方の考え
- ⑥ 韓国漁船問題に関し、日韓政府間の暫定取り決め改正に臨む基本姿勢、漁業水域法の適用実現に対する所信、韓国漁船による漁具被害への対処策
- ⑦ 福祉問題に関し、本道の福祉の現状と福祉に対する基本的考え方、福祉の新計画策定における基本的考え方
- ⑧ 教育問題に関し、子供に信頼される教育の意味、教育課程の編成等実態の認識、非行・暴力の続発と教師の責任・役割に対する所信、学校主任制度の充実と教職員の行動に対する所見及び今後の取り組み方、公立高等学校

校の総合選抜制度改善への対処の考え、教育長期総合計画に係わる道立高校改築の今後の見通しと考え方、福岡県知事の教員スト処分による給与復元等の発言に対する見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁、吉田政一議員（自民）から再質問、知事から答弁。高橋康之議員（自民）から議事進行発言があり、議事進行の都合により午後3時55分休憩、午後6時40分再開し直ちに延会。

○7月6日（水） 午後1時24分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第32号を議題とし、知事から7月5日の吉田政一議員（自民）の再質問に対する補正答弁の後、代表質問を継続、

原 清重議員（社会）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、新開拓の時代の理念、平和と民主主義及び憲法の遵守にかかわる所信、道民党の立場での道政の進め方
- ② 道政の活性化に関し、市町村と道の関係、道庁内の機構・機能及び経済産業界などに対する方途、市町村サミット等の構想、道政における国際交流の対応、国際会議場の設置や道内空港の国際空港化、外務公務員派遣に対する取り組み姿勢、情報公開制度に対する見解
- ③ 経済、開発政策に関し、本道開発における民間部門の資本蓄積の推進策、新しい工業立地の可能性と手順、地場産業の振興策、「一村一品運動」の進め方、先端技術の導入の構想、苫東の次期段階計画に向けての見直し、石狩湾新港地域への新しい産業誘致に対する見解、観光関連行政の一元化と観光公社の設立構想、新しい北海道計画の策定についての見解
- ④ 福祉政策に関し、道民福祉の向上を図るための基本的所見、高齢化社会への対応、老人保健事業の強化対策、ウタリ対策と旧土人保護法に対する考え方
- ⑤ 交通通信体制のあり方に関し、INS（高度情報通信システム）の導入、効果、将来展望等の所見、国鉄の第二次廃止対象路線問題

に取り組む知事の決意、交通、運輸、通信政策にかかわる地方自治体首長の権限についての現状認識と権限の一部移譲を含めての政府に対する姿勢

- ⑥ 当面する諸問題に関し、水田利用再編第3期対策の見通しと対処、農家負債対策、森林組合の経営体制の強化及び森林組合間の協業の促進にかかわる指導方針、小径木の利活用対策、日朝民間漁業協定の交渉再開に向けて国等に働きかける考え、漁家負債をかかえる経営不振漁協に対する育成対策、夕張新炭鉱再開発にかかわる道案実現に向けての決意、日本海中部地震による被災地の復旧状況と当面の対策並びに今後の防災対策

- ⑦ 教育、文化政策に関し、教科書採択地区の広域化の問題及び文部省が公表した教科書の検定内容に対する見解、教育長期計画終了後の新教育長期計画の立案についての所見、教育における公私立格差是正のため、入学金に奨学金を適用することについての所見、行政の文化化についてシステム全体の見直し、民間と協力した文化振興基金制度の創設等に対する見解

- ⑧ 警察行政に関し、道警函館方面本部の射撃場問題に関連しての民主警察のあり方、報道関係者への対応等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。議案調査のため、7月7日は休会することを決定し午後3時5分延会。

○7月8日（金） 午前10時28分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第32号を議題とし、代表質問を継続、

石川 十四夫議員（道政）から、

- ① 知事の基本姿勢と地域発展政策に関し、道民党として道民本位の民主的道政を執行するに際しての所見、公約とその実施についての見解、地域発展の現状認識と地域政策のあり方についての所見、新しい総合計画の策定と四全総との整合性に対する所見、道の行政改革への取り組み、自衛隊との協力関係、北方領土返還運動の取り組み
- ② 景気浮揚対策と地場産業の育成に関し、本

道経済の現況とその認識、景気浮揚対策、地場産業育成策の所見

- ③ 当面する道政の課題に関し、夕張新炭鉱の再建の見通し、日本海における韓国漁船問題の対策と日本海沿岸の漁業資源増大に対する見解
- ④ サラ金問題に関し、サラ金業者と利用者に対する対策、貸金業規制法等の制定効果、金融機関の貸金業者への融資に対する所要の措置
- ⑤ 教育問題に関し、少年非行の要因とその対策及び精神面の教育の必要性に対する見解、教員の資質の向上にかかわる教員の採用についての所信、地域教育活動の充実策についての見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。石川議員から再質問、知事から答弁。次に、

高橋 鉦議員（公明）から、

- ① 知事の基本姿勢に関し、道民本位の姿勢についての所信、憲法の理念の実現についての具体的な見解、自衛隊への現実的な対応についての見解、新しい総合計画策定についての所見、教育理念と公約の関連
- ② 経済施策に関し、本道産業のあり方についての基本的見解、景気浮揚対策の基本的な考え方、先端技術産業の導入業種についての見解、日本海沿岸地域における水産業振興の基本的見解
- ③ 夕張新炭鉱問題に関し、夕張新炭鉱の再開発、離職者の就労対策及び夕張地域の振興対策についての所見
- ④ 原発建設に関し、原子力発電所に対する基本的な考え方、新規原発を規制した場合の電力需要に対する考え、泊原発の第2次公開ヒアリングに対する対応姿勢
- ⑤ 福祉と医療問題に関し、福祉村第一期計画の整備結果と運営状況及び第二期計画の基本的構想についての考え方、北海道ボランティア憲章を踏まえてのボランティア活動促進の進め方、ボランティア憲章の精神や障害者に関する北海道行動計画を具現するための進め方、障害児の小中学校への就学希望に対する応諾についての見解、医師等医療従事者の確保と医師対策協会の組織強化についての所信

- ⑥ 教育問題に関し、非行防止と健全育成の対処についての考え方、校長のリーダーシップを向上させるための方策と校長の短期間転任異動に対する見解、カウンセラーの配置による教育活動体制についての見解、学校に対する特別指導についての対応、家庭教育等の重要性和母親等に対する教育の現状及び今後の推進策、在学青少年の社会参加や近隣住民との触れ合いと青少年活動のリーダー養成の進め方

- ⑦ 交通事故の防止対策に関し、運転者の資質向上を図るための具体的な施策、シートベルトの着用率を高めるための具体的な方策、道路の危険箇所に対する改善整備の取り組み等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁、高橋議員から再質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により、午後1時2分休憩、午後2時27分再開。引続き、一般質問に入り、

今津 寛議員（自民）から、

- 護国神社及び慰霊祭参拝に関し、戦没者の葬祭に係る国の通達変更、箕面慰霊祭違憲訴訟判決及びこの判決と文部次官・引揚援護庁次長通達との関係についての見解、上級審で一審判決が覆った場合の措置、民生部長通知に対する見解等について

質問があり、知事から答弁。今津議員から再質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により、午後3時6分休憩、午後4時47分再開。議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時48分休憩、午後6時4分再開し直ちに延会。

○7月9日（土） 午後1時14分開議、諸般の報告の後、議案調査のため7月11日は休会とすることに決定。次いで、本日の本会議は、日程を延期し、延会することに決定して直ちに延会。

○7月12日（火） 午後3時39分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第32号を議題とし、一般質問を継続、知事から7月8日の本会議における今津寛議員（自民）の再質問に対する補足答弁の後、今津議員から発言があり、次いで、

輪島 幸雄議員（社会）から、

- ① 観光政策に関し、観光産業の位置づけの明確化及びホスピタリティの確立に対する所見、国民のニーズに応じた対応と施策及び財政的裏づけに対する見解、観光の視点から見た総合的・体系的施策に対する所見、北海道観光の国際化への可能性及び抱負・構想、国際会議の誘致に対する所見と今後の方策、青函トンネル博覧会に向けての取り組み方、青函トンネルに関連した国際的な学術会議等の誘致に対する考え

- ② テクノポリスに関し、工業技術センター設置に向けての考え、庁内の推進体制強化の方針、全道的な推進体制に対する見解等について

質問があり、知事から答弁。次に、

久田 恭弘議員（自民）から、

- ① 日本海中部地震と防災対策に関し、地震予知に対する考え、今後の津波等地震対策のあり方への見解、火山の観測体制と今後の防災対策
- ② 一村一品運動に関し、運動の基本的構想、運動推進に当たっての財政的援助の有無、いわゆるどさんこ産業の事業継続の考え、運動推進に当たっての技術・流通面等の具体的施策の考え、観光振興を一村一品運動に含める考え、社会教育的施設・歴史的文化財等を一村一品運動を通じて観光振興に結びつける考え
- ③ クラフトセンター建設に関し、地場産業振興等の面からの支援の考え
- ④ 生活文化振興基金制度に関し、懇話会の制度創設についての提言に対する見解、今年度の調査内容及び基金設立のめど、制度設立した場合の歴史的建造物等の保存・整備に基金を活用する考え
- ⑤ 交通問題に関し、交通体系の目標、北海道運輸交通審議会の答申に対する対処、大都市近郊の交通体系整備に対する見解、国鉄未利用地の有効利用を国へ働きかける考え、道路交通網の整備についての考え、高速自動車国道の建設に対する取り組み方、小樽臨港線建設計画に対する認識と推進に向けての所見等について

質問があり、知事から答弁。久田恭弘議員（自民）から再質問があり、知事から答弁があつて、午後4時57

分延会。

○7月13日（水） 午前10時32分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第33号、第34号及び報告第26号ないし第32号を議題とし、知事から追加提出案件に関する説明の後、

日程第1にあわせ

日程第2 議案第1号ないし第32号を一括議題とし、**一般質問**を継続、

大平 盛雄議員（社会）から、

- ① 苫東開発に関し、マスタープラン等の目標値達成状況と次期段階計画との関連と整合性、基本計画における企業立地の実現性を見通し、マスタープランを再検討するよう国へ働きかける考え、段階計画作成のための委員会設置等の方法と調査終了の時期及び計画策定のめど、計画策定時に地域住民等の意見を反映させる考え、いすゞ自動車の進出に伴う関連企業の育成及び誘致に対する見解
- ② 北海道・大洗間のフェリー航路開設に関し、航路新設が既存ルートに及ぼす影響、苫小牧・室蘭両港の運行経費・運賃及び流通コスト等における比較、航路決定における考え方等について

質問があり、知事から答弁。次いで、

高橋 一史議員（自民）から、

- ① 日本船舶振興会補助金問題に関し、補助事業等の本道に果たす役割とその評価、B&G財団の体育館建設に対する反対運動への見解、58年度の補助事業の要望状況及び承認見通し、その理由、船舶振興会の補助金導入とB&G財団の海洋センター誘致に対する基本的考え及び今後の取り組み
- ② 第44回国民体育大会に関し、国体に向けての本道選手の競技力向上を図るための対策、昭和58年度における具体的なジュニア対策及び指導者対策、従来から実施している競技力向上対策との関連等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。高橋一史議員（自民）から要望があり、知事から答弁。次に、

谷川 英雅議員（社会）から、

- ① 交通問題に関し、国鉄貨物取扱駅の合理化計画に対する国鉄への対応状況、地域の貨物

輸送に影響を与える計画に変更を求める考え、国鉄地方交通線対策の現状と見通し、第1次、第2次線廃止の場合の影響に対する見解、国鉄再建監理委員会における国鉄の分割・民営化の方針に対する見解、第2次線の廃止反対運動の推進策、北海道における総合交通体系についての北海道運輸交通審議会の答申に対する見解、地域的交通体系検討の必要性と審議会制度の積極的活用を考え、地域の意見等を反映させるため審議会の構成員を拡大する考え

- ② 水産問題に関し、漁船漁業の再編整備対策の基本的な考え方、特定漁業再編推進事業として補助金を予算計上した理由と事業内容、再編整備に係る乗組員の対策、漁協への指導の方針と不振漁協の立て直し対策等について質問があり、知事から答弁。午前11時55分休憩、午後2時32分再開。次に、

小野寺 勇議員（自民）から、

- ① 行政改革に関し、道民のための抜本的行政改革の取り組み
- ② 林業問題に関し、民有林の活性化対策と人工林の健全化対策の考え、カラマツ材の利用促進等具体的対策の考え、林産業の経営安定のための対策
- ③ 道道静内中札内線の建設に関し、この建設に対する認識、道路の環境影響評価を審議会に諮る考え、審議会開催等今後のスケジュール、自然保護と開発に対する基本的考え等について

質問及び要望があり、知事から答弁。小野寺勇議員（自民）から再質問があり、知事から答弁。次に、

伊達 忠一議員（道政）から、

- ① 中小企業対策に関し、中小企業倒産の現状の認識と倒産防止のための今後の対策、中小企業振興資金の融資条件の改善の考え、小口特別資金の限度額引き上げの考え、中小企業の経営基盤の確立に対する考え
- ② 保健医療対策に関し、難病対策に取り組む姿勢、難病の公費負担対象疾患の拡大と無料集団検診等の事業を拡大する考え、北海道難病連を育成強化の考え、北海道腎臓バンクの構想と設立準備の状況、道内腎移植手術の実態、腎移植センター設置の構想

- ③ 老人福祉問題に関し、生きがい対策と老人クラブの育成施策への取り組み方、生きがい村建設に対する見解、高齢者の雇用就業対策に対する取り組み方とシルバー人材センターの結成促進に対する方策、高齢者就労センターの設置促進とその充実策、軽費老人ホームや老人福祉センターの機能充実の方策、老人の健康促進対策

- ④ 過疎対策及び産炭地振興に関し、本道過疎地域の現状認識と当面の施策、過疎地域における観光開発の推進策、産炭地域振興対策として企業誘致に取り組む所見等について

質問があり、知事から答弁。次に、

相沢 武彦議員（公明）から、

- ① 都市の緑化対策に関し、事業の基本的な考え方、気象緩和の機能を含めた植栽の方法を検討する考え、植栽設計における安全性の確保を検討する考え、寒冷等の地域に適した緑化樹選定の考え、本道に適した常緑広葉樹の開発に対する取り組み状況、植栽枯損の実態調査を実施し今後の対策に活用する考え、緑化事業推進のため事業債を発行する考え、新しい緑化樹の開発推進と開発された品種の生産流通体制の整備及び発注に当たっての商品指定と商品表示制度導入に対する見解、優良な樹種指定の考え、生け垣に適した樹木を普及啓発する考え
- ② 道産材の需要拡大に関し、道産材の需給動向の現状認識、ハイブリット建材・節抜き加工材への認識、複合建材の研究開発についての対処の考え、今後の道産材の需用拡大策の考え
- ③ 水産加工業の振興策に関し、加工業に対する保護・育成の考え、水産加工業界の体質強化のため再編成を指導する考え、品質向上のための高度利用技術の開発と鮮度保持に対する見解、たん白の供給源としての水産物の位置づけ、融資制度の整備拡充に対する見解
- ④ 先端技術産業の誘致対策に関し、優遇措置を充実強化する考え、税制上の優遇措置を国に働きかける考え等について

質問があり、知事から答弁。相沢武彦議員（公明）から再質問、知事から答弁があって午後4時36分延会。

○ 7月14日（木） 午前10時25分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第34号及び報告第26号ないし第32号を議題とし、一般質問を継続、

中崎 昭一議員（自民）から、

- ① 自衛隊に関し、自衛隊に対する知事の考え、自衛隊の演習・自衛艦の入港等に対する対処、隊員の募集業務、災害時の派遣要請等に対する道の対応のあり方
- ② 道職員のストライキと庁舎管理に関し、違法ストに対し厳正な処分を行う考え、庁舎内でのビラ張り行為に対する対処策等について質問があり、知事から答弁、中崎昭一議員（自民）から再質問があり、知事から答弁。引き続き、

岩瀬 正人議員（自民）から、

- ① 苫東立地企業の見直し等に関し、臨海型企業と臨空型企業との相違、臨空型と臨海型工業との結びつき、苫東開発の目的の変更の有無、企業誘致の具体策、電子関係技能者の養成、自衛隊の需要品の道内発注と受け入れ体制について
- ② 交通事故防止対策に関し、死亡事故の増加要因、最近における死亡事故の特徴と今後の対策
- ③ 少年の非行防止等に関し、最近の道内における少年非行の現状と今後の取り組み、警察官の増員に対する見解等について

質疑及び意見があり、知事及び警察本部長から答弁、岩瀬正人議員（自民）から再質問、知事から答弁。次に、

若狭 靖議員（自民）から、

- 北方領土問題に関し、固有の領土に対する認識と千島列島を固有の領土と解する理由、平和的自治体外交の具体的内容、北方領土に関しての国論の統一のための対処策、北方領土返還要求北海道・東北国民大会の大会長への就任の考え及びこれまでの不参加団体への参加呼びかけを行う考え、北方領土問題に対する政府の基本方針及びソ連の提案する善隣協力条約に対する見解、北方領土に対するソ連の態度と軍事力の配備についての所見、教科書における北方領土の記述に対する見解、学校教育における北方領土に関する指導資料

の改善と効果的な活用の必要性等について

質問があり、知事及び教育長から答弁、若狭靖議員（自民）から再質問、知事から答弁、若狭議員から再質問、知事から答弁、高橋康之議員（自民）から、議事進行発言があり、午後1時53分休憩、午後4時47分再開し直ちに延会。

○ 7月15日（金） 午後4時39分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第34号及び報告第26号ないし第32号を議題とし、一般質問を継続、知事から7月14日の本会議における若狭靖議員（自民）の再再質問に対する補足答弁があり、会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、若狭議員から発言があつて、知事から答弁。午後4時45分延会。

○ 7月16日（土） 午前10時42分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第34号及び報告第26号ないし第32号を議題とし、一般質問を継続、

平井 進議員（自民）から、

- 農業問題に関し、本年の農作物の生育状況と営農技術指導、第3期転作において本道の傾斜配分の見直しを国に働きかける考え、稲作農家の負債整理対策、農業機械の所有・利用の実態と効率的な利用の促進策、経営不振農協の現状認識、第3次土地改良長期計画の取り組み姿勢等について

質問があり、知事から答弁、平井進議員（自民）から再質問、知事から答弁。次に、

岩本 允議員（自民）から、

- 新長期計画に関し、計画策定の準備に早急に取り組む考え、四全総の策定作業のスケジュール、道民意向を反映した計画にするための新計画策定に要する期間、発展計画に対する認識と点検結果における問題点の掌握に要する期間等について

質問があり、知事から答弁、岩本允議員（自民）から再質問、知事から答弁。次に、

伊藤 弘議員（自民）から、

- ① 国際交流問題に関し、国際交流に対する基本的認識、今後の国際交流の進め方、庁内に

新たな組織を作る考え、青年・婦人の海外研修の進め方、本道を海外に積極的にPRすることに対する見解、市町村の姉妹提携に対する協力と緊密な連携の必要性、知事の外国訪問のスケジュール、外務公務員の本道への派遣見通し、国際会議場構想の具体化の時期

- ② 教育問題に関し、高校におけるLL装置の配置計画、先端的な教育機器の導入に対する見解、情報処理教育センターにおける教材開発及び利用状況等について

質問があり、知事及び教育長から答弁、伊藤弘議員（自民）から再質問、知事から答弁。次に、

吉川 貴盛議員（自民）から、

- ① 国民健康保健事業に関し、国保会計の現状とこれに対する所見、老人保健法の施行に伴う国保会計への影響、国保会計への新しい財政援助の考え及び特定都市に対する特別の財政援助の必要性
- ② 教育問題に関し、教育に関して知事に取り組む具体的内容、主任制の範囲の拡大に対する見解、教育問題に係る福岡県知事の発言に対する所見、教員採用選考検査の改正の趣旨、夏・冬休み中に教員の研修を実施することに対する見解、新任及び現任研修の実態と成果、高校の修学旅行における航空機利用に対する見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁、吉川貴盛議員（自民）から再質問、知事から答弁、高橋康之議員（自民）から議事進行発言があり、午後2時38分休憩、午後3時49分再開し、直ちに延会。

○7月18日（月） 午前11時12分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第34号及び報告第26号ないし第32号を議題とし、一般質問を継続し知事から7月16日の本会議における吉川貴盛議員（自民）の再質問に対する補足答弁の後、吉川議員から発言。次に、

小野 秀夫議員（道政）から、

- ① 工業振興に関し、先端技術産業の振興策、産業育成のための北海道科学技術会議等の組織の設置と行政組織の確立に対する見解、試験研究・研修機関等の産・学・官協同による専門機関設置に対する考え、試験研究機関の

充実を図る考え、職業訓練の強化に対する見解、技術アドバイザーの専門職化の考え、新製品や新技術の開発に対する助成制度を充実する考え、石川県の先端産業立地促進条例制定に対する見解と同趣旨の条例制定の考え

- ② 発展計画に関し、新計画の策定に対する見解と発展計画推進に対する見解

- ③ 港湾行政に関し、低成長経済に対応した諸施策推進の考え、特定地域開発による他地域経済への影響を配慮した対策と停滞傾向にある地域への施策の考え、道内港湾の機能分担についての所見、船舶航行の安全性確保に対する所見、大洗・本道間フェリー航路の開設の見通し、室蘭・大洗航路開設促進の見解、本道受け入れ港に関連する苫小牧での発言の真意

- ④ 知事の政治姿勢に関し、道民党と選挙応援の関連についての所見、幌延町の核廃棄物処理施設誘致運動に対する対処と市町村連合事務局の考え方との関係等について

質問があり、知事から答弁。中川隆之議員（道政）から、議事録精査を求める旨の発言があって午前11時49分休憩、午後4時40分再開。議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長し、直ちに休憩、午後7時14分再開し直ちに延会。

○7月19日（火） 午後4時22分開議、諸般の報告の後、あらかじめ会議時間を延長し、

日程第1 議案第1号ないし第34号及び報告第26号ないし第32号を議題とし、一般質問を継続、知事から7月18日の本会議における小野秀夫議員（道政）の質問に対する補足答弁の後、小野議員から再質問。知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により午後4時42分休憩、午後5時34分再開し直ちに延会。

○7月20日（水） 午後1時14分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第34号及び報告第26号ないし第32号を議題とし、一般質問を継続、知事から7月19日の本会議における小野秀夫議員（道政）の再質問に対する答弁の後、小野議員から再再質問、知事から答弁。次いで、

大橋 見議員（共産）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、道民党と革新道政の関連性、自衛隊の演習に対する見解、自衛隊の演習に伴う海岸等の占有に同意をした理由、日米合同演習の中止申し入れの考え
- ② 開発、産業問題に関し、国土審議会調査部会報告書に対する見解、四全総に対する道の対応、苫東・石狩湾新港など大規模プロジェクトの開発推進についての見解と基本計画再検討の考え、苫東の石油備蓄の現状と今後の見通し、苫東石油備蓄株式会社への出資検討の考えと国家備蓄の見通し、小樽運河保存について再検討の考え、夕張新炭鉱再開発に向けての考えと国など関係機関を含む検討委員会設置の考え、労務債の支払いや雇用の確保等に対する見解、農業補助金見直しの具体的対象
- ③ 福祉など道民生活に関し、老人医療の現状認識と国への働きかけの考え、市町村の老人医療に対する助成と老人医療単独事業拡大の考えの有無、国民健康保険への道費助成実施に対する見解、季節労働者の冬期就労事業促進の考え、ウタリ対策の具体的構想と第2次ウタリ福祉対策見直しの考え
- ④ 教育問題に関し、私立高校生に対する直接助成の考え等について

質問があり、知事から答弁。大橋見議員（共産）から再質問があり、知事から答弁の後、大橋議員から再再質問があり、知事から答弁。次に、

坂下 堯議員（無所属）から、

- ① 低レベル放射性廃棄物貯蔵施設等に関し、幌延町の誘致問題についての見解、奥尻町の核燃料再処理工場誘致の動きに対する見解と今後の対処
- ② 沿岸漁業の振興対策に関し、沖合い底びき網漁業の生産体制の再編成に対する見解、再編成におけるオッタートロール船の位置づけ、底びき船の許可等における国との交渉に対する見解、離島の漁業振興対策の考え等について

質問があり、知事から答弁。坂下堯議員（無所属）から再質問があり、知事から答弁。次いで、

輪島幸雄議員（社会）から、予算及び企業会計決算に関する案件について、予算特別委員会

は31人、企業会計決算特別委員会は19人の委員をもって構成する両特別委員会を設置し、議案第1号ないし第7号、第15号ないし第26号及び第33号は、予算特別委員会に、報告第26号ないし第32号は、企業会計決算特別委員会に、それぞれ付託の上、審査されたい旨の動議を提出、賛成があって動議成立、これをはかって異議なく可決。動議に係る案件は、両特別委員会に付託の上、次の委員（配付名簿のとおり）を議長指名により選任。議案第8号については、北方領土対策特別委員会に付託することとし、残余の案件については議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

次いで、各委員会付託議案審査のため7月21日から7月22日まで休会することに決定して午後3時13分散会。

○予算特別委員（31人）

遠藤 常二（社会）	大内 良一（社会）
伊達 忠一（道政）	今津 寛（自民）
岩瀬 正人（自民）	小野寺 勇（自民）
高橋 一史（自民）	平井 進（自民）
浅野 俊一（公明）	大島 一郎（社会）
柏倉 勝雄（社会）	高橋 庸（社会）
三沢 道男（社会）	樫林 巖（社会）
神本 三也（社会）	青山 章（自民）
伊藤 弘（自民）	岩本 允（自民）
桜井 外治（自民）	中川 義雄（自民）
久田 恭弘（自民）	松崎 義雄（自民）
吉川 貴盛（自民）	宇川 源吉（自民）
川口 常人（自民）	中崎 昭一（自民）
小野 秀夫（道政）	柳谷 正一（公明）
長岡 寅雄（社会）	舟山 広治（社会）
若狭 靖（自民）	

○企業会計決算特別委員（19人）

相沢 武彦（公明）	生駒 隆介（自民）
神戸 典臣（自民）	酒井 芳秀（自民）
綿貫 健輔（自民）	大平 盛雄（社会）
菊地 芳郎（社会）	谷川 英雅（社会）
高田 忠雄（道政）	小田部善治（自民）
木本 由孝（自民）	橋 浪蔵（自民）
宇川 源吉（自民）	高木 繁光（自民）
関根 建二（社会）	萩上 元春（社会）
渋谷 澄夫（社会）	吉川 靖晃（自民）
笹浪 幸男（自民）	

○7月23日（土） 午後3時36分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、会期を7月25日まで2日間延長することをはかり、異議なく決定し、午後3時38分散会。

○7月25日（月） 午後4時49分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時50分休憩、午後8時40分再開。諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第34号を議題とし、舟山広治予算特別委員長（社会）から議案第1号ないし第7号、第15号ないし第26号及び第33号について、野村權作北方領土対策特別委員長（自民）から議案第8号について、川口常人総務委員長（自民）から議案第9号、第13号、第14号、第32号及び第34号について、湯本芳志商工労働委員長（社会）から議案第10号及び第11号について、萩上元春文教林務副委員長（社会）から議案第12号、第30号及び第31号について、古川靖晃建設委員長（自民）から議案第27号ないし第29号について、それぞれ各委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋晃議員（共産）から議案第1号、第9号、第17号及び第18号に関する反対討論があって討論終結。次いで、採決に入り、まず、日程第1のうち、議案第1号、第9号、第17号及び第18号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第2号ないし第8号、第10号ないし第16号及び第19号ないし第34号を問題とし、いずれも異議なく委員長報告のとおり原案可決。次いで、

日程第2 議案35号ないし第40号を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略の上、採決に入り、まず、日程第2のうち、

議案第35号及び第40号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもっていずれも原案のとおり同意議決または原案可決。次に、

議案第36号ないし第39号を問題とし、いずれも異議なく原案のとおり同意議決。次に、

日程第3 意見案第2号ないし第7号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のう

え、異議なく原案のとおり可決。次に、

日程第4 請願審査の件を議題とし、委員長報告を省略のうえ、異議なく委員会決定（採択1件）のとおり採択と決定。次いで、

閉会中報告第26号ないし第32号継続審査の件について企業会計決算特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査に付することに決定。次に、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第26号ないし第32号を除きすべて議了。三上勇議長から閉会に当たってのあいさつがあって、午後9時12分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、去る7月20日設置され、昭和58年度各会計補正予算及びこれに関連する議案20件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、審査の方法等について協議の結果分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に樫林巖君、副委員長に松崎義雄君、第2分科会は、委員長に桜井外治君、副委員長に神本三也君を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、21日から各部所管質疑に入り、25日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、本日の委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、道政執行方針で示されました諸施策に伴う経費及び当面措置を要する経費について所要の措置を講じようとするものであり、総額963億974万円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会において論議の対象となりました主なる事項につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き各分科会において質疑保留となった事項について総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。その総括質疑の主なものを申し上げますと、

福祉の知事公約について

福祉総合計画について

政教分離について

などであります。

質疑終結後、各会派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、いずれも意見の一致を見、本日の委員会におきまして、議案第1号ないし第7号、第15号ないし第26号及び第33号の各案件は、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては、短期間にもかかわらず、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされ、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

第2回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 29	1	昭和58年度北海道一般会計補正予算（第1号）	予算特別	7. 25	原案可決
同	2	昭和58年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	3	昭和58年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	4	昭和58年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	5	昭和58年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	6	昭和58年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	7	昭和58年度北海道病院事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	8	北海道北方領土隣接地域振興等基金条例案	北方領土対策特別	同	同
同	9	北海道税条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	10	北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	11	北海道日雇労働者就職促進等助成条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	12	北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	13	北海道警察組織条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	14	警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	15	女満別空港ビル株式会社（仮称）に対する出資の件	予算特別	同	同
同	16	財団法人北方圏交流基金に対する出資の件	同	同	同
同	17	総合研究開発機構に対する出資の件	同	同	同
同	18	苫小牧東部石油備蓄株式会社に対する出資の件	同	同	同
同	19	北海道農業協同組合中央会（経営改善特別対策基金（仮称））に対する出資の件	同	同	同
同	20	北海道農業信用基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	21	財団法人北海道勤労者信用基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	22	財団法人公園緑地管理財団に対する出資の件	同	同	同
同	23	日本下水道事業団に対する出資の件	同	同	同
同	24	中央漁業信用基金に対する出資の件	同	同	同
同	25	財団法人漁港漁村建設技術研究所に対する出資の件	同	同	同
同	26	財団法人北海道学校保健会に対する出資の件	同	同	同
同	27	北海道道の路線の認定及び廃止に関する件	建 設	同	同
同	28	工事請負契約の締結〔道道松山美瑛線道路改良（トンネル）工事〕に関する件	同	同	同
同	29	工事請負契約の締結〔石狩川流域下水道管きよ新設（1工区）工事〕に関する件	同	同	同
同	30	工事請負契約の締結〔北海道函館陵北高等学校新築工事〕に関する件	文教林務	同	同
同	31	工事請負契約の締結〔北海道美唄南高等学校改築工事〕に関する件	同	同	同

提出月日	番号	件 名	付託 委員会	議決月日	議事結果
6. 29	32	財産の処分〔勇払郡厚真町字共和93番9ほか30筆〕に関する件	総 務	7. 25	原案可決
7. 13	33	昭和58年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第2号）	予算特別	同	同
同	34	損害賠償請求事件における和解の件	総 務	同	同
7. 25	35	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	36	北海道監査委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	37	北海道人事委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	38	北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	39	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	40	特別職職員の手当の額を定める件		同	原案可決

報 告

提出月日	番号	件 名	付託 委員会	議決月日	議事結果
6. 29	1	昭和57年度北海道継続費繰越計算書報告の件			報告のみ
同	2	昭和57年度北海道繰越明許費繰越計算書報告の件			同
同	3	昭和57年度北海道事故繰越計算書の報告の件			同
同	4	昭和57年度北海道工業用水道事業会計予算繰越計算書報告の件			同
同	5	北海道住宅供給公社の経営状況に関する件			同
同	6	北海道土地開発公社の経営状況に関する件			同
同	7	財団法人北海道農業開発公社の経営状況に関する件			同
同	8	社団法人北海道私立専修学校各種学校基金協会の経営状況に関する件			同
同	9	社団法人北海道中小企業振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	10	財団法人北海道体育文化協会の経営状況に関する件			同
同	11	財団法人北海道公害防止基金協会の経営状況に関する件			同
同	12	財団法人北海道水産加工振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	13	社団法人北海道産炭地域振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	14	財団法人北海道私立高等学校奨学会の経営状況に関する件			同
同	15	財団法人北海道教育施設整備公社の経営状況に関する件			同
同	16	株式会社北海道生薬公社の経営状況に関する件			同
同	17	社団法人北海道軽種馬振興公社の経営状況に関する件			同
同	18	財団法人北海道ボランティア振興協会の経営状況に関する件			同
同	19	財団法人北方圏交流基金の経営状況に関する件			同
同	20	財団法人北海道中小企業振興公社の経営状況に関する件			同
同	21	財団法人北海道埋蔵文化財センターの経営状況に関する件			同
同	22	財団法人北海道環境衛生営業指導センターの経営状況に関する件			同
同	23	財団法人北海道勤労者福祉協会の経営状況に関する件			同

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
6. 29	24	財団法人北海道開拓の村の経営状況に関する件			報告のみ
同	25	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、6月3日1件、6月14日2件、6月16日2件、6月18日1件専決処分）			同
7. 13	26	昭和57年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	7. 25	継続審査
同	27	昭和57年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	28	昭和57年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同
同	29	昭和57年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	同
同	30	昭和57年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	同
同	31	昭和57年度北海道有料道路事業会計決算に関する件	同	同	同
同	32	昭和57年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同

第2回定例会において議員から提出のあった案件

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
6. 29	1	昭和58年産生産者米価等に関する要望意見書	寺崎政朝議員ほか13人	6. 29	原案可決	農 務
7. 25	2	水田利用再編第3期対策に関する要望意見書	同	7. 25	同	同
同	3	韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見書	佐藤静雄議員ほか12人	同	同	水 産
同	4	北方領土問題等の解決促進に関する要望意見書	野村權作議員ほか12人	同	同	北方領土 対策特別
同	5	国鉄特定地方交通線第2次線の選定凍結を求める要望意見書	川口常人議員ほか13人	同	同	総 務
同	6	石炭鉱業及び産炭地域振興対策に関する要望意見書	伊藤 豪議員ほか14人	同	同	石炭対策 特別
同	7	夕張地域振興対策に関する要望意見書	同	同	同	同

備考欄は提出者の所属委員会等を示す。

意見案

意見案第1号

(昭和58年 2 定
寺崎 政朝議員ほか13人提出<農務>
昭和58年 6 月29日 原案可決)

昭和58年産生産者米価等に関する要望意見書

本道農業は、恵まれた土地資源を背景に国民食糧の安定的な供給に重要な役割りを果たしている。

しかしながら、本道農業の基幹部門である稲作は、水田本地面積の50パーセントにも及ぶ転作を余儀なくされているなど極めて困難な状況のもとに置れている。

稲作農家は、これらの困難な事態に耐えつつ、更に一層、良質米の生産に全力をあげ努力しているが、長期にわたり事実上米価が据え置かれ、加えて、農業生産資材や労賃等の上昇、転作による追加投資等に伴う借入金の増大などにより、一層苦しいものとなっているので、国におかれても、このような厳しい実態を十分配慮され、当面する生産者米価等について、次により決定されるよう強く要望する。

記

1. 昭和58年産米政府買入価格については、稲作農家の経営実態を十分配慮するとともに、物価、賃金の動向を勘案し、再生産が確保できる米価60キログラム当たり18,676円に引き上げることを。
2. 政府買入価格の類別格差については、現行以上に拡大しないこと。
3. 米の消費拡大対策を拡充強化するとともに、道産米の消費拡大に一層配慮すること。
4. 道産米の流通拡大のため、引き続き特別自主流通米に対する現行の助成措置を講ずること。
5. 水田利用再編第3期対策の実施にあたっては、稲作経営の実態に鑑み、現行の転作目標面積の配分を是正すること。
また、転作農家の経営安定を図るため、転作奨励金の現行水準の維持及び転作条件整備対策等関連諸対策の拡充強化を図ること。
6. 稲作農家の経営安定を図るため、自作農維持（経営再建整備）資金の融資枠拡大など金融対策を拡充強化すること。
7. 稲作経営の安定を期するため、生産費の大半を占める農業生産資材の価格抑制対策を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
農林水産大臣

意見案第2号

(昭和58年 2定
寺崎 政朝議員ほか13人提出〈農務〉)
昭和58年 7月25日 原案可決

水田利用再編第3期対策に関する要望意見書

北海道は、水田利用再編第2期対策において、水田面積の五割にも及ぶ極めて厳しい目標を受け、大幅な転作を余儀なくされているが、本道の稲作農家は我が国の食糧自給力の向上と、本道農業の基幹である稲作を守るため、米質の改善や、需要の拡大に懸命の努力を重ねている。

しかしながら、長期にわたる転作の実施は、専門的な経営を主体とする本道の稲作の生産コストを押し上げて農家経済を悪化させており、更には、生産物の流通面で畑作や野菜経営に大きな影響を与えている。

第3期対策において引き続きこのように府県に比して極めて過重な転作を強いられるならば、離農を余儀なくされる農家が続出し、地域社会の崩壊を導くことは必至である。

国においては、本道農業の重要性と、稲作農家の実態に十分配慮し、水田利用再編第3期対策に当たっては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

記

1. 最近の米の需給事情に鑑み、生産や消費の動向、備蓄の強化等を十分考慮したゆとりのある需給計画を樹立し、これに基づく施策を展開すること。
2. 本道の転作等目標面積は、府県に比し著しく高い割当てとなっているので、配分面積を見直すこと。
3. 転作による農家経済の悪化を防ぐため、転作奨励補助金の現行水準を維持すること。
4. 第3期対策において他用途利用米を取り込む場合は、稲作農家の所得が低下しないよう国の助成など適切な措置を講ずること。
5. 転作経営の安定を図るため、転作条件整備等関連諸対策を拡充強化すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
農林水産大臣

意見案第3号

(昭和58年 2定
佐藤 静雄議員ほか12人提出〈水産〉)
昭和58年 7月25日 原案可決

韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見書

北海道周辺海域における韓国漁船の操業問題については、これまで再三にわたり要望意見書をもって、その早期解決を強く訴えてきた結果、昭和55年11月、日韓政府間の暫定取り決めが行われ、漁具被害などのトラブルが減少するなどしたが、反面、韓国漁船の集中する武蔵堆や噴火湾、えりも岬沖においては、資源の減少や漁場の荒廃が極めて憂慮される事態となっている。

このような中で、本道漁民は、なお発生する漁具被害や漁獲の減少に伴う休漁等の影響を受け、漁業経営と生活は、窮地にたたされ、漁民の怒りは、極致に達している。

かかる事態の根本的解決のため、現行の日韓政府間取り決めが、本年10月末をもって期限切れとなるのを機会に、韓国漁船に対する我が国「漁業水域法」の適用を強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、外務大臣 } 各通
農林水産大臣 }

意見案第4号

(昭和58年 2 定
野村 權作議員ほか12人提出<北方>
昭和58年 7 月25日 原案可決)

北方領土問題等の解決促進に関する要望意見書

北海道議会は、これまで北方領土問題解決促進に関する要望をしばしば行ってきたところであるが、いまなおその返還が実現していない。

更に、ソ連邦が北方領土において軍事力を配備し、増強を続けていることは、日ソ両国の平和友好関係の促進のために誠に遺憾なことである。

北方領土の早期返還の実現は、道民はもとより国民の総意であり念願である。

よって、政府は、次の事項につき適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

1. 国民世論の統一と高揚を図るため、全国的な啓発運動を推進すること。
1. 北方領土隣接地域の振興対策の充実強化を図ること。
1. 北方地域旧漁業権者等及び北方領土元居住者等に対する救済援護措置を早急に講ずること。
1. 北方地域墓参の早期再開を図ること。
1. 北方領土におけるソ連邦の軍事的措置を撤回するようソ連邦政府に要求すること。
1. 北方領土の早期返還を図り、平和条約を締結して日ソ両国間の安定的平和友好関係を確立すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、外務大臣 } 各通
総理府総務長官 }

意見案第5号

(昭和58年 2 定
川口 常人議員ほか13人提出<総務>
昭和58年 7 月25日 原案可決)

国鉄特定地方交通線第2次線の選定凍結を求める要望意見書

国鉄は、昨年11月、特定地方交通線の第2次対象路線として、本道において松前線など14線区を選定し、運輸省に申請した。

この選定申請は、長大路線や石炭輸送路線を含むなど本道の実情を無視するものであり容認することはできない。

本道は、厳しい自然条件におかれているが、21世紀をめざす我が国の発展に大きく寄与することが期待されており、本道の鉄道網は、今日なお重要な開発基盤となっている。

これが廃止されることになると、沿線地域の住民生活や産業経済はもとより、今後における本道の開発の推進にも大きな影響を及ぼすことが憂慮される。

よって、政府及び関係当局においては、関係地方公共団体の合意並びに地域住民の理解と納得が得られず、かつ、第一次線の協議が未だ実質的に行われていない現状に鑑み、第二次対象路線の選定を凍結するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、運輸大臣、
行政管理庁長官、北海道開発庁長官} 各通

意見案第6号

(昭和58年 2 定
伊藤 豪議員ほか14人提出<石炭>
昭和58年 7 月25日 原案可決)

石炭鉱業及び産炭地域振興対策に関する要望意見書

我が国における貴重な国内エネルギー資源である石炭を長期安定的に確保し、積極的に活用することが肝要であります。

しかしながら、石炭産業の経営基盤は、生産条件の悪化等により、弱体化している状況にあります。

一方、産炭地域にあっては、閉山による人口の急減などによって、地域経済の低迷と地方自治体財政の逼迫が続いており、今なお疲弊から脱却し得ない現状にあります。

従って、国においては、石炭政策の充実強化と昭和59年度の予算編成に当たり、特に次の事項について、特段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

記

1. 石炭対策財源の確保
2. 石炭鉱業安定対策
 - (1) 適正炭価の設定
 - (2) 炭鉱間格差の是正
 - (3) 炭鉱保安の確保
 - (4) 生産基盤の整備
 - (5) 新鉱開発の促進と鉱区調整
 - (6) 石炭の高度利用技術開発の促進
 - (7) 労働力の確保
3. 産炭地域振興対策
 - (1) 地方公共団体への財政援助
 - (2) 企業誘致の促進及び地場産業の振興
 - (3) 炭鉱跡地の再開発事業の促進
 - (4) 産炭地域国鉄地方交通線の存続

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業大臣
労働大臣、自治大臣、北海道開発庁長官} 各通

意見案第7号

(昭和58年 2 定
伊藤 豪議員ほか14人提出<石炭>
昭和58年 7 月25日 原案可決)

夕張地域振興対策に関する要望意見書

夕張新炭鉱の再建については、地元関係者をはじめ、本道の石炭関係者が強く期待して参りましたが、同鉱の再建は困難な情勢となりました。

かかる事態は、同鉱の離職者や関連下請企業、商工業者はもとより、地域経済社会に深刻な影響を与えており、まさに同地域は、崩壊の危機に直面しております。

よって、政府におかれては、夕張地域の経済社会の安定を図るため、次の事項について万全の措置を講ぜられるよう強く要望します。

記

1. 炭鉱離職者対策

離職者の再就職を促進するため、職業紹介の強化や職業訓練の実施及び雇用促進住宅の確保、勤労者野外活動施設の設置等総合的な諸対策を推進すること。

2. 下請企業・商工業者対策

下請企業や商工業者の経営の維持安定を図るため、公共事業の重点配分による下請企業等の仕事の確保並びに政府系中小企業金融機関による長期低利資金の融資及び既往貸付金に係る償還猶予等の措置を講ずること。

3. 企業誘致対策

企業の立地を促進するため、地域振興整備公団による融資の条件緩和、工業再配置促進費補助金の引上げなどの措置を講ずること。

4. 産業基盤・生活環境の整備促進

地域の産業・生活基盤の整備を促進するため、夕張市を含む広域的な道路網の整備・拡充、水源開発、水道施設の整備などに対する特別の財源措置を講ずるとともに閉山跡地の整備、再開発に対して新たな助成措置を講ずること。

5. 夕張市の財政対策

夕張市の財政は、税収等の大幅な減少、特別な財政需要の増大などにより、益々逼迫することから特別交付税の大幅な増額と地方債の充当率の引上げなどの措置を講ずるとともに、産炭地域振興臨時交付金制度の拡充を図ること。

6. 石炭資源の確保

夕張地域に賦存する石炭は、貴重な国産資源であるので将来における総合的な開発に備え賦存状況に関する調査を実施すること。

7. 北炭真谷地・幌内炭鉱対策

夕張新炭鉱と関連のある北炭真谷地及び幌内両炭鉱が安定操業できるよう配慮すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業大臣
労働大臣、自治大臣、北海道開発庁長官} 各通

請 願 ・ 陳 情

○第2回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
1	第21回北海道漁業協同組合長会議決議に関する件	北海道指導漁業協同組合連合会 会長 長崎 勝利	水 産	採 択
2	北海道立札幌中島体育センター別館を早期改修し弓道専用道場の併設を求める件	北海道弓道連盟連合会 会長 長谷川 謙	文教林務	継続審査
3	北海道立武道館の建設を促進し専用弓道場の併設を求める件	同	同	同
4	食品添加物の使用規則を強化し、消費者本位の食品衛生行政を求める件	北海道生活協同組合連合会 代表者 会長理事 岡田義雄 ほか4人	厚 生	同
5	北海道を核戦場にさせないための件	新日本婦人の会北海道本部 会長 渡辺 昌子	総 務	同
6	老人医療に関する諸施策の拡充を求める件	同	厚 生	同
7	子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	同	文教林務	同
8	灯油元売価格の値下げなどを求める件	同	商工労働	同
9	同	同	厚 生	同
10	住居地域内におけるパチンコ店建設に反対の件	東区元町4区町内会 会長代行 宮樫 捨吉 ほか1人	総 務	議決不要
11	食品添加物の規則緩和に反対する件	日本婦人会議北海道本部 議長 香取 柳子	厚 生	継続審査
12	登別市に警察署設置の件	登別市長 中浜元三郎	総 務	同
13	本道水田等農家の抜本的負債対策を実現し、冷害対策強化に関する件	全日農北海道連合会 委員長 菅原 朝喜	農 務	同
14	平和に関する件	北海道主婦会連絡協議会 会長 一戸 キヨ	総 務	同
15	老人医療と諸施策の拡充を求める件	北海道高齢者退職者の会連合会 会長 改発 治幸	厚 生	同
16	老人医療に関する件	北海道主婦会連絡協議会 会長 一戸 キヨ	同	同
17	灯油値下げに関する件	同	商工労働	同
18	同	同	厚 生	同
19	公立高校の増設等に関する件	同	文教林務	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
1	鹿部村の町制施行の件	芽部郡鹿部村長 川村 秀次ほか1人	総 務	継続審査
2	社会福祉法人釧路まりも学園の運営に関する件	釧路市南浜町9番34号 亀岡 鶴雄	厚 生	同

委員会の動き

議会運営委員会

○6月22日（水） 午後5時44分、議会運営委員会室において開議、午後5時55分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 委員長から、高橋仁議員の改名（「仁」から「一史」）について報告。
- ② 今期における議会運営について、各派から意見の提出があり、理事会において協議の結果、下記のとおり決定されたので、理事会決定のとおり取り進めることについてはかり、異議なく決定。
 1. 公明党提出の代表質問の国会派の持時間については、従前の申し合せどおり年間持時間100分とすること。
 2. 共産党から提出された諸派の取り扱いに関する意見のうち
 - (1) 従前の1定における諸派の一般質問の順位及び発言時間の特例は認めないこととする。
 - (2) 改選年における2定の諸派の一般質問の順位の特例は認めないこととする。
 3. 共産党及び無所属から提出された第1回定例会における諸派に対する予算特別委員の配分は認めないこととする。また、本件に関連し、委員外議員発言申出者は、議題となった所管部門の質疑の開始から終了まで在席すること。
 4. 道政クラブから提出された発言時間については、継続検討事項とすること。
 5. 以上のほか、新たに議会運営委員会理事会の諸派の出席扱いについて意見の提出があり、議会運営委員会理事会に対する諸派の出席については、今後、原則として認めないこととする。但し、委員長が必要と認めたときは出席を許可する。
- ③ 今期における議会運営について、本決定の事項を加え、前期限りの決定事項となってい

る部分を除き、前期における議会運営に関する決定事項を踏襲し運営することをはかり、異議なく決定。

- ④ 第2回定例会の招集期日を6月29日とすることを了承。会期は25日間とすることに決定。

- ⑤ 総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

- ⑥ 第2回定例会の日程について、次のとおり取り進めることに決定。

▽ 第2回定例会日程

6月29日 本会議（道政執行方針及び提案説明、教育行政執行方針）

6月30日

～7月4日 休会

7月5日 本会議（代表質問）

6日 本会議（代表・一般質問）

7日～9日 本会議（一般質問）

10日～11日 休会

12日 本会議（一般質問、予算・企業会計決算特別委員会設置）

13日～22日 休会

23日 本会議

- ⑦ 代表質問について、順位は自民、社会、道政、公明とし、発言時間については従前の申し合せのとおり取り進めることに決定。通告は、7月2日正午までとすることに決定。

- ⑧ 一般質問について、順位は従前の申し合せのとおり取り進めることとし、10番目については、自民と公明の両会派間で調整し後日報告することを了承。次に、諸派の順位及び発言時間について従前の申し合せのとおり取り進めることを決定。通告は7月4日正午までとすることを決定。

○6月28日（火） 午後1時17分、議会運営委員会室において開議、午後1時25分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 29日の本会議における知事の提案説明は、

従来どおり説明書を印刷配付の上、議場における説明は、内容を要約整理して行うことを了承。

- ③ 予算特別委員会について、(1)審査方法は、従前の申し合せのとおり2分科会方式により各部審査を行なうこと、(2)構成は、31人、第1・第2分科会各15人（自民17人、社会10人、道政2人、公明2人）とすること、各会派別分科委員数は、各会派間の調整によることとし、調整結果については後日報告すること、(3)委員の割当のない諸派については、委員外議員発言として質疑を認めることとし、その決定は委員会において行うこと、(4)正副委員長は、従前の申し合せにより本委員会及び第1分科会の委員長は社会、副委員長は自民、第2分科会の委員長は自民、副委員長は社会とすることを決定。
- ④ 企業会計決算特別委員会について、(1)構成は、委員19人（自民11人、社会6人、道政1人、公明1人）とすること、(2)委員外議員発言は、委員の割当てのない各派の議員に限り申し出を認めること、(3)正副委員長の配分は、従前の申し合せにより委員長は自民、副委員長は社会とすることを決定。
- ⑤ 6月29日の本会議の議事順序について、明日協議することを了承。
- ⑥ 農務委員会において、要望意見案の発議が予定されており、提出された場合、明日の本会議に上程する扱いとすることに決定。
- ⑦ HBCから、明日の本会議における知事の執行方針演説の録画撮影及び録音のため演壇上にマイクを設置したい旨の申し出があり、これを許可することをはかり了承。

○6月29日（水） 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午前9時37分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 意見案第1号について、別紙のとおり提出があったことを報告。本日の本会議において議決する扱いとすることを決定。
- ② 議案調査のため、6月30日から7月4日まで休会し、7月5日再開することに決定。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取

り進めることに決定。

▽ 議事順序

（開会）

- 日程第1 会議録署名議員の指定
諸般の報告
- 日程第2 会期決定の件
- 日程第3 議案第1号ないし第32号
道政執行方針並びに提出議案に関する知事の説明
教育行政執行方針に関する教育長の説明
- 日程第4 意見案第1号
意見案第1号 昭和58年産生産者米価等に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

- 1. 本件を原案のとおり決することに
ついて簡易採決
議案調査のための休会日の決定
（6月30日から7月4日まで）

○7月5日（火） 午前10時40分、議会運営委員会室において開議、午後6時21分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、知事が7月7日開催予定の衆議院石炭対策特別委員会に「北炭夕張炭鉱株式会社の再建問題」の参考人として意見陳述のため前日6日に上京するので、道議会の対応について配慮を願いたい旨発言の後、
輪島幸雄委員（社会）から、知事の上京を了承する旨、北炭夕張の再開発問題の知事案に自民党が反対であるとの報道に対する疑義と真意について発言の後、
高橋康之委員（自民）から、知事の上京を了承する旨及び輪島委員の指摘に対する発言があつて、各委員の意見交換の後、委員長から、代表質問の内容に関する問題のため、この件は以上で打切ることとし、知事の上京については了承することを決定。
- ② 7月7日の休会についてはかり決定。
- ③ 代表質問の通告（4人）について報告。本日2人、明日2人行うことを決定。
- ④ 7月6日の当初日程は代表質問終了後、一

般質問に入る予定となっているが、6日は代表質問までとすることをはかり決定。

- ⑤ 一般質問の通告(24人)について報告。順位は、従来の例により取り進めることとし、10番目の順位は公明とすることを了承。諸派の順位は共産、無所属の順とすることを了承。個人別順位については議事課長説明のとおりとすることに決定。

- ⑥ 一般質問は7月8日から行うこととし、取り進め方については、明日協議願うことを了承。

- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前10時52分休憩、午後6時20分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第32号

質疑並びに一般質問(代表質問2人)

- ⑧ 休憩前の本会議における高橋康之議員(自民)の議事進行発言の取り扱いについて、高橋康之委員から質問に対する知事答弁の的確性について発言の後、事務局長から議事録反訳の見通しについて説明があり、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することに決定。

○7月6日(水) 午前10時1分、議会運営委員会室において開議、午後零時38分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 総務部長から、昨日の本会議における吉田政一議員(自民)の再質問について、議事録により内容精査中であり時間を要する旨及び北炭夕張問題に関して知事が本日上京するため配慮願いたい旨発言があって、午前10時2分休憩、午後零時32分再開。
- ② 総務部長から、昨日の本会議における吉田政一議員(自民)の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は吉田議員の再質問に対する知事の補足答弁から入ることをはかり決定。
- ③ 代表質問の通告内容の変更について了承。
- ④ 本日の本会議の進め方について、知事上京

の予定もあるので、出来るだけ早く本会議を開くこととし、本日の代表質問の進め方については、進行状況により協議することを了承。

- ⑤ 一般質問の順位等の変更について了承。

- ⑥ 一般質問について、7月8日代表質問終了後4人行う予定とし、その後の日程については7月8日改めて協議することを決定。

- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第32号

質疑並びに一般質問(代表質問4人)

議案調査のための休会日の決定

(7月7日)

○7月8日(金) 午前9時40分、議会運営委員会室において開議、午後5時59分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。

- ② 本日の本会議について、代表質問終了後、一般質問4人行うことを決定。

- ③ 一般質問の明日以降の日程及び進め方について、本日の本会議の休憩中に協議することを了承。

- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時42分休憩、午後2時5分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第32号

質疑並びに一般質問(代表質問2人、一般質問4人)

- ⑤ 一般質問の日程について、当初7月12日までとなっているが、7月14日まで行うことをはかり決定。

- ⑥ 一般質問について、本日4人、9日5人、12日5人、13日5人、14日5人の予定で行うことをはかり決定。

- ⑦ 予算及び企業会計決算特別委員会の委員名

簿の提出は7月12日正午までとすることを了承。設置動議の提出は社会とすることをはかり決定。午後2時7分休憩、午後4時35分再開。

- ⑧ 委員長から、休憩前の本会議における高橋康之議員（自民）の議事進行発言の取り扱いについて、速記録反訳中であり、終了するのは午後5時頃の見込であることを報告。
- ⑨ 本日の本会議の進め方について、協議の結果、取りあえず会議時間を延長することををはかり了承。午後4時43分休憩、午後5時57分再開。
- ⑩ 総務部長から、今津寛議員（自民）の再質問に対する答弁準備についてなお時間を要する旨発言があって、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することに決定。

○7月9日（土） 午前9時49分、議会運営委員会室において開議、午後1時5分散会
委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、今津寛議員（自民）の再質問に対する答弁準備になお相当な時間を要する旨発言があって、午前9時50分休憩、午後1時4分再開。
- ② 総務部長から答弁準備になお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は日程を延期し、延会することををはかり決定。
- ③ 本日の本会議について、7月11日の休会を決定した後、日程を延期し、延会することををはかり決定。
- ④ 委員長から、昭和58年産生産者米価問題に関する中央折衝のため、農務委員4人が7月11日から15日まで上京することを報告し、了承。

○7月12日（火） 午前9時42分、議会運営委員会室において開議、午後3時30分散会
委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、7月8日の今津寛議員（自民）の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言があって、午前9時44分休憩、午後3時26分再開。

- ② 総務部長から、答弁準備が出来た旨発言があり、本日の本会議は今津議員の再質問に対する知事の補足答弁から入ることを決定。

- ③ 総務部長から、追加提出案件（9件）について説明の後、明13日に追加提案することを了承。

- ④ 本日の本会議について、一般質問は継続質問1人を含め3人行う予定で取り進めることに決定。

- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第32号

質疑並びに一般質問（一般質問3人・うち継続1人）

○7月13日（水） 午前10時10分、議会運営委員会室において開議、午前10時14分散会
委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、追加提出議案（9件）に関する説明があり、本日の本会議において知事の提案説明を行うことに決定。

- ② 一般質問の 通告内容等 の 変更について了承。

- ③ 本日の本会議について、一般質問8人行う予定とし、進行状況により協議することを了承。

- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第33号、第34号及び報告第26号ないし第32号

追加提出議案に関する知事の説明

◎日程第1にあわせ

日程第2 議案第1号ないし第32号質疑並びに一般質問（一般質問8人）

○7月14日（木） 午前9時37分、議会運営委員会室において開議、午後4時44分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 一般質問の今後の進め方について、7月14日6人、15日5人、16日2人の予定で行うことを決定。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時40分休憩、午後4時40分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第34号及び報告第26号ないし第32号
質疑並びに一般質問（一般質問6人）

- ④ 休憩前の本会議における高橋康之議員（自民）の議事進行発言の取り扱いについて、高橋康之議員から説明の後、輪島幸雄議員（社会）から発言があって、明日協議することをはかり了承。
- ⑤ 総務部長から、若狹靖議員（自民）の再再質問に対する答弁準備におお時間を要する旨発言の後、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することをはかり決定。

○7月15日（金） 午後4時15分、議会運営委員会室において開議、午後4時24分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 昨日の本会議における高橋康之議員（自民）の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から知事の補足答弁を行いたい旨発言の後、本日の本会議は若狹靖議員（自民）の再再質問に対する知事の補足答弁から入ることに決定。
- ② 各委員から、高橋康之議員の議事進行発言及び議事進行発言の在り方について意見交換があり、議事進行発言の件は以上で打ち切ることを決定。
- ③ 本日の本会議について、若狹靖議員（自民）の一般質問（継続）終了後、延会することをはかり決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第34号及び報告第26号ないし第32号
質疑並びに一般質問（一般質問1人・継続）

- ⑤ 木本由孝委員（自民）から議場における不規則発言について意見、要望があり、委員長から不規則発言について十分留意するよう要請。

○7月16日（土） 午前10時25分、議会運営委員会室において開議、午後3時40分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 一般質問の進め方について、本日中午に終了することは困難であり、7月18日の月曜日は休会せず本会議を開会し一般質問を行うこととし、本日5人、18日5人の予定で取り進めることに決定。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第34号及び報告第26号ないし第32号
質疑並びに一般質問（一般質問5人）

- ③ 本会議における審議の促進について、各委員の意見交換の後、委員長から各派の協力方及び理事者の留意方要望があって、午前10時29分休憩、午後3時37分再開。
- ④ 休憩前の本会議における高橋康之議員（自民）の議事進行発言の取り扱いについて、委員長から議事録を反訳中であることを報告の後、総務部長から対応に相当時間を要する旨発言。
- ⑤ 議事進行発言について、高橋康之議員（自民）から説明。
- ⑥ 一般質問の通告者の取り下げについて了承の後、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することに決定。

○ 7月18日（月） 午前9時40分、議会運営委員会
会室において開議、午後4時
28分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 7月16日の本会議における高橋康之議員（自民）の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、吉川貴盛議員（自民）の再質問に対する議事録精査後の答弁準備になお時間を要する旨発言があって、午前9時41分休憩、午前10時53分再開。

総務部長から、知事の補足答弁を行いたい旨発言があり、本日の本会議は吉川議員の再質問に対する知事の補足答弁から入ることに決定。

- ② 本日の本会議について、一般質問4人（うち継続1人）行うことを決定。
- ③ 予算特別委員会の各派別分科委員数について、決定した旨報告。
- ④ 予算及び企業会計決算特別委員会名簿について、別紙名簿のとおり選任すること、設置動議は輪島幸雄議員（社会）に提出願うことを了承。
- ⑤ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑥ 各委員会付託議案調査のため、7月19日から22日まで休会し、23日再開することに決定。
- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前10時56分休憩、午後4時16分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第34号及び報告第26号ないし第32号

質疑並びに一般質問（一般質問
4人・うち継続1人）

（質疑終結宣告）

○予算及び企業会計決算特別委員会設置

○予算及び企業会計決算特別委員の選任

○議案第8号を北方領土対策特別委員会に付託することについて簡易採決

○残余の議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のため休会日の決定（7月19日から7月22日まで）

- ⑧ 休憩前の本会議における中川隆之議員（道政）の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、知事の補足答弁を行いたい旨発言の後、

中川隆之委員（道政）から、小野秀夫議員（道政）の質問に対する知事答弁に関し、議長の措置を要求する旨発言があり、関連して各委員から意見があり、協議の結果、取り敢えず会議時間を延長することをはかり了承。

○ 7月19日（火） 午後4時、議会運営委員会室
において開議、午後5時30分
散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 中川隆之委員（道政）から、昨日の委員会における議長への措置要求の真意について発言の後、委員長から議長に対し善処方を要請した。
- ② 中田繁夫委員（社会）から、昨日の委員会における議長への措置要求に関する中田委員の発言の真意について説明。午後4時7分休憩、午後5時29分再開。
- ③ 総務部長から、小野秀夫議員（道政）の質問に対する知事の答弁準備になお時間を要する旨発言があって、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することとし、明日も本会議を開会し、一般質問を行うことをはかり決定。

○ 7月20日（水） 午前9時49分、議会運営委員会
会室において開議、午前9時
50分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、昨日の本会議における小野秀夫議員（道政）の再質問に対する答弁準備に時間を要する旨発言の後、本日の本会議は準備出来しだい小野議員の再質問に対する知事の答弁から行うことを決定。
- ② 一般質問について、本日3人（うち1人継続）行うことに決定。
- ③ 予算、企業会計決算特別委員会の設置及び委員の選任並びに議案の各委員会付託につい

ては、7月18日の委員会で決定したとおり取り進めることを了承。

- ④ 各委員会付託議案審査のため、7月21日から22日まで休会し、23日再開することを決定。

- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第34号及び報告第26号ないし第32号

質疑並びに一般質問(一般質問3人)

(質疑終結宣告)

○予算及び企業会計決算特別委員会設置

○予算及び企業会計決算特別委員の選任

○議案第8号を北方領土対策特別委員会に付託することについて簡易採決

○残余の議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のため休会日の決定(7月21日から7月22日まで)

○7月23日(土) 午後2時25分、議会運営委員会室において開議、午後2時30分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 予算特別委員会における付託議案等の審議状況について報告。
- ② 会期を7月25日まで2日間延長することをはかり決定。
- ③ 本日の本会議について、会期を7月25日まで2日間延長して散会することに決定。

○7月25日(月) 午後4時45分、議会運営委員会室において開議、午後8時13分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告の後、本日の本会議は取り敢えず会議時間を延長することに決定。午後4時46分休憩、午後8時8分再開。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況

について、すべて議した旨報告。

- ③ 委員長から、企業会計決算特別委員会において審査中の報告第26号ないし第32号は本日の委員会において継続審査の申し出をすることに決定した旨報告。

- ④ 総務部長から、追加提出議案に関する説明があって、本日の本会議において議決する扱いとすることを決定。

- ⑤ 意見案第2号ないし第7号の提出があった旨報告。本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。

- ⑥ 各関係委員長から審査報告のあった請願について、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。

- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第34号

予算特別、北方領土対策特別、総務、商工労働各委員長、文教林務副委員長、建設委員長報告

(討論)

1. 大橋晃議員の議案第1号、第9号、第17号及び第18号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 議案第1号、第9号、第17号及び第18号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて起立により採決(共産反対)
2. 議案第2号ないし第8号、第10号ないし第16号及び第19号ないし第34号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて簡易採決

日程第2 議案第35号ないし第40号

追加提出議案に関する知事の説明

(委員会付託省略)

(採決)

1. 議案第35号及び第40号を問題とし、議案第35号を原案のとおり同意、議案第40号を原案のとおり決すること

について起立により採決(共産反対)

- 議案第35号 北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件
- 議案第40号 特別職職員の退職手当の額を定める件

2. 議案第36号ないし第39号を問題とし、本件をいずれも原案のとおり同意することについて簡易採決

- 議案第36号 北海道監査委員の選任につき同意を求める件
- 議案第37号 北海道人事委員会委員の選任につき同意を求める件
- 議案第38号 北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件
- 議案第39号 北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件

日程第3 意見案第2号ないし第7号

意見案第2号 水田利用再編第

3期対策に関する要望意見書

意見案第3号 韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見書

意見案第4号 北方領土問題等の解決促進に関する要望意見書

意見案第5号 国鉄特定地方交通線第2次線の選定凍結を求める要望意見書

意見案第6号 石炭鉱業及び産炭地域振興対策に関する要望意見書

意見案第7号 夕張地域振興対策に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決

日程第4 請願審査の件 (採択1件)

(委員長報告省略)

(採決)

1. 本件を請願審査報告書(採択)のとおりに決することについて簡易採決

○閉会中継続審査の件

企業会計決算特別委員長から報告第26号ないし第32号について申し出のとおり閉会中の継続審査に付することについて簡易採決

○閉会申請願、陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長から申し出のとおり閉会中継続審査または調査に付することについて簡易採決

○議長の閉会あいさつ

常任委員会

総務委員会

○6月1日（水） 午後1時37分、第5委員会室
において開議、午後1時47分
散会
委員長 川口 常人（自民）

一般議事

- ① 総務部長から、日本海中部地震の被害状況について報告。
- ② 委員長から、附属機関等の委員の推薦についてばかり、北海道納税推進運動本部委員に関根建二副委員長（社会）、岩本允委員（自民）、舟山広治委員（社会）、小野秀夫委員（道政）、工藤啓二委員（公明）を、北海道青少年問題協議会委員及び北海道自然環境保全審議会委員に委員長及び副委員長を、北海道暴力追放運動推進協議会委員に委員長を選出することに決定。
- ③ 小野秀夫委員（道政）から、交通対策問題に関し、港湾整備と安全性に対する所見、総合交通政策と安全性の確保についての見解、茨城県大洗港と本道を結ぶフェリー航路の安全性について質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。

○6月28日（火） 午前10時50分、第5委員会室
において開議、午前11時28分
散会
委員長 川口 常人（自民）

一般議事

- ① 委員長から、北海道開拓の村視察の実施についてばかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及び警察本部総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 総務部長から、日本海中部地震の被害状況について報告。
- ④ 生活環境部長から、「道民生活目標」につ

いて説明。

○7月12日（火） 午後5時2分、第5委員会室
において開議、午後5時5分
散会
委員長 川口 常人（自民）

一般議事

- 総務部長から、第2回定例会追加提出予定案件について説明。

○7月25日（月） 午後6時39分、第5委員会室
において開議、午後6時55分
散会
委員長 川口 常人（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第9号（北海道税条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第13号（北海道警察組織条例の一部を改正する条例案）を議題とし、警察本部総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第14号（警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例案）を議題とし、警察本部警務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ④ 議案第32号（財産の処分に関する件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ⑤ 議案第34号（損害賠償請求事件における和解の件）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願・陳情の審査

請願

第10号 住居地域内におけるパチンコ店建設に反対の件（議決不要）
残余の請願、陳情については、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

一般議事

- ① 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、国鉄特定地方交通線第2次線の選定凍結を求める要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、国鉄特定地方交通線第2次線の選定凍結及び昭和59年度開発予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ④ 生活環境部長から、昭和57年度北海道道民生活安定条例の施行状況について報告。

○7月26日（火） 午前10時29分、第5委員会室
において開議、午前10時41分
散会
委員長 川口 常人（自民）

一 般 議 事

- 総務部長、開発調整部長及び生活環境部長から、昭和59年度北海道開発関係予算について説明。

厚 生 委 員 会

○6月1日（水） 午後1時32分、第9委員会室
において開議、午後2時29分
散会
委員長 星野 健三（社会）

一 般 議 事

- ① 各種審議会等委員の選出について、理事会決定のとおり、北海道地方社会福祉審議会委員には伊藤豪委員（自民）及び西村慎一委員（道政）、北海道民生委員審査会委員には橋浪蔵委員（自民）及び長岡寅雄委員（社会）、北海道児童福祉審議会委員には生駒隆介委員（自民）及び笠島保委員（社会）、北海道国民健康保険審査会委員には中崎昭一委員（自民）、北海道地方医療機関整備審議会委員には宇野眞平委員（自民）、北海道献血推進協議会委員には小野寺勇委員（自民）及び大橋晃委員（共産）、北海道赤十字血液センター

運営委員会委員には星野健三委員長（社会）及び岩瀬正人委員（自民）をそれぞれ推せんすることに決定。

- ② 民生部長及び衛生部長から、日本海中部地震の被害状況について報告。
- ③ 大橋晃委員（共産）から、(1)老人保健法の行施に関し、4月1日から実施の特例許可病院、除外承認病院の基準及び病院数、7許可外病院の設置主体及び診療報酬体系の相違点、医療機関及び患者から提起されている問題の実態把握及び対応状況、(2)難病対策に関し、本年度の難病検診の実施予定箇所、既存の難病の公費負担による医療費の無料化が老人保健法の施行に伴う同法の優先規定により有料化されるが、医療受給者証交付患者数のうち老人保作法適用患者数及び有料化される自己負担の肩替り事業を実施する考え、(3)A型肝炎の流行に関し、実態把握の状況、食品衛生・食品流通面からの対応策、(4)国民健康保険に関し、道内市町村及び都道府県単位の国保財政の比較状況、都道府県の財政援助の比較状況、市町村に対する財政援助の考えについて

（関連して、伊藤豪委員（自民）から、道内市町村の国保財政が全体として悪い原因について）

質疑、意見及び要望があり衛生部長及び民生部長から答弁。

○6月28日（火） 午前10時21分、第9委員会室
において開議、午前11時4分
散会
委員長 星野 健三（社会）

一 般 議 事

- (1) 民生部長及び衛生部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 衛生部長から、医療機関における事故の経過等に関し報告の後、
大橋晃委員（共産）から、士別市の産院の事故に関し、道発展計画や保健医療基本計画の点検結果、看護職員の地域偏在が顕著になっているが、過疎地における看護職員の確保策の考えについて

（関連して、岩瀬正人委員（自民）から、士

別市の産院閉鎖後における当該医療圏の産科及び婦人科の医療状況について)
質疑があり、衛生部長から答弁。

- ③ 衛生部長から、エキノコックス症対策について報告。

○ 7月25日(月) 午後6時44分、第9委員会室において開議、午後6時46分散会

委員長 星野 健三(社会)

一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○ 7月26日(火) 午前10時25分、第9委員会室において開議、午前11時11分散会

委員長 星野 健三(社会)

一般議事

- ① 委員長から、道内調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ② 民生部長及び衛生部長から、昭和59年度北海道開発関係予算重点要望事項について説明。
- ③ 岩瀬正人委員(自民)から、(1)土別市の産科医院の医療事故に関し、その後の産科医師不在の対応状況、産科医師の確保方策、(2)沈船泰東丸の捜索に関し、樺太連盟との協議経過及び沈船の確認状況、捜索の結果確認出来なかった場合の経費の援助の考えについて(関連して、中崎昭一委員(自民)から、樺太連盟が捜索の結果確認されない場合の道の善後策について)質疑、意見及び要望があり、衛生部長及び民生部長から答弁。
- ④ 長岡寅雄委員(社会)から、道立難病センターの運営に関し、センターの設置目的、管理運営を難病連に委託した経緯、管理運営経費の財源内訳及び予算の妥当性、財源が予定を下回った場合の対応策、難病連の設置目的

及び事業内容、難病連に対する補助金減額の原因、道と難病連との連絡調整の状況、医療福祉に係る対応策について

(関連して、宇野眞平委員(自民)から、難病連との協議方について)

質疑、意見及び要望があり衛生部長から答弁。

商工労働委員会

○ 6月1日(水) 午後2時27分、第8委員会室において開議、午後3時7分散会

委員長 湯本 芳志(社会)

一般議事

- ① 商工観光部長から、昭和58年日本海中部地震による被害状況について報告の後、松崎義雄副委員長(自民)から、商工業に係る追加予想される被害の対応方について要望があった。
- ② 労働部長から、昭和58年3月新規学校卒業者の就職状況について報告。
- ③ 企業局長から、ポンテシオ発電所建設事業概要について説明。
- ④ 石川十四夫委員(道政)から、(1)夕張市の地域振興策に関し、北炭夕張新炭鉱爆発事故以来の中小企業者に対する融資実績、償還猶予措置の実態、今後の金融対応、(2)北炭夕張新炭鉱関連の離職者に関し、就職状況、未就職者の雇用保険等の給付状況、黒手帳と雇用保険の受給差、(3)日本石炭協会の通産大臣への再建に係る答申、(4)観光振興に関し、過去3年間の予算額、夕張市の「石炭の歴史村」宣伝に係る道の取り組みについて質疑、意見及び要望があり、商工観光部長及び労働部長から答弁。

○ 6月28日(火) 午前10時30分、第8委員会室において開議、午前10時54分散会

委員長 湯本 芳志(社会)

一般議事

- 商工観光部長及び労働部長から、第2回定

例会提出予定案件について説明。

○7月25日（月） 午後6時47分、第8委員会室
において開議、午後6時52分
散会
委員長 湯本 芳志（社会）

付託案件の審査

- ① 議案第10号（北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例案）を議題とし、商工観光部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第11号（北海道日雇労働者就職促進等助成条例の一部を改正する条例案）を議題とし、労働部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月26日（火） 午前10時19分、第8委員会室
において開議、午前11時16分
散会
委員長 湯本 芳志（社会）

一般議事

- ① 商工観光部長、労働部長及び企業局長から昭和59年度北海道開発関係予算要望の概要について説明。
- ② 委員長から、昭和59年度北海道開発関係予算に関する中央折衝並びに道内の商工労働事情調査の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 石川十四夫委員（道政）から、夕張地域振興対策に関し、道の基本的考え、苫東基地のいすゞ自動車協力工場を誘致する等企業誘致の取り組み、造幣工場等国策関連企業の誘致を国に要請する考え、石炭火力発電所を建設する考え、商工業者に対する金融対策、公共事業等による雇用の確保について

質疑及び要望があり、商工観光部長及び労働部長から答弁。

農務委員会

○6月1日（水） 午後1時30分、第7委員会室
において開議、午後2時13分
散会
委員長 寺崎 政朝（自民）

一般議事

- ① 農務部長から、農作物の生育状況について報告の後、
大野新生委員（道政）から、日本海中部地震災害の水路破損による作付可否について質疑があり、農務部長から答弁。
- ② 青山章委員（自民）から、(1)農業共済組合の合併に関し、合併の実績と推進策、(2)豊平東部農協の不正事件に関し、事件の概要、全道農協の不正事件発生状況、道の検査及び北農中央会の監査状況、道の検査体制の強化及び農協体制の充実について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○6月28日（火） 午前10時39分、第7委員会室
において開議、午前11時12分
散会
委員長 寺崎 政朝（自民）

一般議事

- ① 委員長から、昭和58年産生産者米価等に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 農務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ④ 農務部長から、農作物の生育状況等、昭和58年度水田利用再編対策転作等実施計画及び第25回甘味資源審議会の建議について報告。

○7月25日（月） 午後6時43分、第7委員会室

において開議、午後6時45分
散会
委員長 寺崎 政朝（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、水田利用再編第3期対策に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中 継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月26日（火） 午前10時33分、第7委員会室
において開議、午前10時51分
散会
委員長 寺崎 政朝（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和58年産生産者米価等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、水田利用再編第3期対策及び昭和59年度開発関係予算等に関する中央折衝並びに道内農業事情調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 農務部長から、農作物の生育状況について説明の後、
青山章委員（自民）から、作況報告の内容、三沢道男委員（社会）から、農業用語の使い方について
意見及び要望があり、農務部長から答弁。
- ④ 農務部長から、昭和58年産米穀の政府買入価格について説明。

建 設 委 員 会

○6月1日（水） 午後1時35分、第4委員会室
において開議、午後1時46分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

一 般 議 事

- ① 附属機関等の委員について、北海道建築審

査会及び北海道開発審査会委員に古川靖晃委員長（自民）を、北海道住宅対策審議会委員に古川靖晃委員長（自民）、木本由孝委員（自民）、榎林巖委員（社会）及び伊達忠一委員（道政）を、北海道住宅供給公社運営委員に柳谷正一副委員長（公明）及び木本由孝委員（自民）を、北海道土地開発公社土地開発推進委員会委員に古川靖晃委員長（自民）及び榎林巖委員（社会）を、北海道道路利用者会議委員に委員全員をそれぞれ推せんすることに決定。

- ② 土木部長及び住宅都市部長から、日本海中部地震の被害状況について報告。

○6月28日（火） 午前10時37分、第4委員会室
において開議、午前10時55分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

一 般 議 事

- 土木部長及び住宅都市部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

○7月25日（月） 午後6時40分、第4委員会室
において開議、午後6時46分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第27号（北海道道の路線の認定及び廃止に関する件）及び議案第28号（工事請負契約の締結に関する件）を順次議題とし、土木部長から説明の後、異議なくいずれも原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第29号（工事請負契約の締結に関する件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月26日（火） 午前10時25分、第4委員会室
において開議、午前10時40分

散会

委員長 古川 靖晃（自民）

一 般 議 事

- 土木部長及び住宅都市部長から、昭和59年度北海道開発関係予算の概要について説明。

農 地 開 発 委 員 会

- 6月1日（水） 午後1時27分、第3委員会室において開議、午後1時45分散会

委員長 中川 隆之（道政）

一 般 議 事

- ① 農地開発部長から、昭和58年日本海中部地震災害の概要について報告。
- ② 農地開発部長から、昭和58年度公共事業の執行計画について説明の後、
- 吉田英治委員（社会）から、上期第1・四半期の既発注済みの状況、地元業者優先及び中小企業者に対する発注量の確保について（関連して、坂下堯委員（無所属）から、事業の早期発注に関し、道の各部間、国及び道の各部局間における発注の連絡調整について）質疑があり、農地開発部長から答弁。

- 6月28日（火） 午前10時30分、第3委員会室において開議、午前10時40分散会

委員長 中川 隆之（道政）

一 般 議 事

- ① 農地開発部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 吉田英治委員（社会）から、積算基準の公表に関し、その扱いと公表の時期について質疑があり、農地開発部長から答弁。

- 7月25日（月） 午後5時46分、第3委員会室において開議、午後5時48分散会

委員長 中川 隆之（道政）

一 般 議 事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議な

く決定。

- 7月26日（火） 午前10時38分、第3委員会室において開議、午前10時48分散会

委員長 中川 隆之（道政）

一 般 議 事

- ① 農地開発部長から、昭和59年度北海道開発予算要望について説明。
- ② 委員長から、昭和59年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝並びに道内における農業基盤整備事業及び災害状況等の調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

水 産 委 員 会

- 6月1日（水） 午後2時、第6委員会室において開議、午後2時32分散会
- 委員長 佐藤 静雄（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した日本海中部地震災害現地調査の概要について報告。
- ② 水産部長から、日本海中部地震災害の被害状況を説明。
- ③ 水産部長から、さきに妥結した貝殻島こんぶ漁協定の概要について説明。

本日聴取した陳情

第21回北海道漁業協同組合長会議決議事項について

北海道指導漁業協同組合連合会会長

- 6月28日（火） 午前10時36分、第6委員会室において開議、午前10時44分散会

委員長 佐藤 静雄（自民）

一 般 議 事

- 水産部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

- 7月25日（月） 午後6時50分、第6委員会室において開議、午後6時55分

散会

委員長 佐藤 静雄（自民）

請願、陳情の審査

請 願

第 1 号 第21回北海道漁業協同組合長会
議決議に関する件 （採択）

一 般 議 事

- ① 委員長から、韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、要望意見案並びに昭和59年度国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○ 7 月26日（火） 午前10時35分、第6 委員会室
において開議、午前10時40分
散会
委員長 佐藤 静雄（自民）

一 般 議 事

- 水産部長から、昭和59年度北海道開発関係予算について説明。

文 教 林 務 委 員 会

○ 6 月1日（水） 午後1時34分、第10委員会室
において開議、午後1時39分
散会
委員長 岩田 徳弥（自民）

一 般 議 事

- ① 附属機関等の委員について、北海道文化振興審議会委員に岩田徳弥委員長（自民）及び萩上元春副委員長（社会）を、北海道暴力追放運動推進協議会委員に岩田徳弥委員長（自民）を推せんすることに決定。
- ② 教育長及び林務部長から、日本海中部地震の被害状況について報告。

○ 6 月28日（火） 午前10時38分、第10委員会室

において開議、午前11時7分

散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

一 般 議 事

- 教育長、林務部長及び学事課長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

本日聴取した陳情

北海道留辺蘂高等学校移転改築促進について
留辺蘂高等学校移転改築促進
特別委員会委員長

○ 7 月25日（月） 午後6時33分、第10委員会室
において開議、午後6時43分
散会
委員長 岩田 徳弥（自民）

付託案件の審査

- 議案第12号（北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例案）及び議案第30号、第31号（いずれも工事請負契約の締結に関する件）を順次議題とし、教育長から説明の後、異議なくいずれも原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを はかり、異議なく決定。

○ 7 月26日（火） 午前10時41分、第10委員会室
において開議、午前10時50分
散会
委員長 岩田 徳弥（自民）

一 般 議 事

- ① 教育長、林務部長及び学事課長から、昭和59年度北海道開発関係予算について説明。
- ② 委員長から、昭和59年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

- 6月28日（火） 午後1時55分、第1委員会室
において開議、午後2時散会
委員長 武部 勤（自民）
- 開発調整部長から、第2回定例会提出予定
案件について説明。

- 7月26日（火） 午前11時30分、第1委員会室
において開議、午前11時38分
散会、委員長事故のため
副委員長
小田原 要四蔵（社会）
- ① 開発調整部長から、昭和59年度北海道開発
関係予算について説明。
- ② 副委員長から、昭和59年度北海道開発予算
に関する中央折衝及び道内における開発事情
調査の実施については、異議なく決定。
実施時期等については、委員長に一任するこ
ととした。

石炭対策特別委員会

- 6月1日（水） 午後4時14分、第11委員会室
において開議、午後5時24分
散会
委員長 伊藤 豪（自民）
- ① 委員長から、さきに実施した衆議院商工委
員会の傍聴及び夕張新炭鉱再建に関する中央
折衝並びに衆議院石炭対策特別委員会・参議
院エネルギー対策特別委員会傍聴の概要につ
いて報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、石川十四夫議員（道政）の本
委員会への出席及び夕張新炭鉱問題に関する
発言の申し出については、異議なく了承。
- ③ 商工観光部長から、夕張新炭鉱問題に関す
る経過報告の後、
土屋良三委員（自民）から、炭鉱の再建に

対する道の基本的な考え方、新会社の経営参
画の考え、通産大臣に道案を提出する時期

宇川源吉委員（自民）から、道の判断につ
いて経理面の検討及びその時期

相沢武彦委員（公明）から、石炭協会評議
委員会の検討内容、再建に対する道の財政負
担及び方策、再建に対する道民の合意につ
いての考え、出資・道債発行についての問題
点、石炭協会に対し業界再編成を要請する考
え、石炭協会答申の保安問題についての道の
受けとめ方、試験炭鉱として再建する考え

綿貫健輔委員（自民）から、再建に対する
基本的な考え方、国及び石炭協会に対する積
極的な働きかけ

石川十四夫議員（道政）から、開発資金を
導入した場合の経理状況、大沢構想と答申の
設備投資額の相違に対する見解、保安技術者
確保についての対応、再建に対する決意につ
いて

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長か
ら答弁。

- 6月28日（火） 午後2時36分、第11委員会室
において開議、午後3時57分
散会
委員長 伊藤 豪（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した夕張新炭鉱の
再建に関する中央折衝の概要について報告書
により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長及び労働部長から第2回定例
会提出予定案件について説明。
- ③ 商工観光部長から、夕張新炭鉱問題に関す
る経過について報告の後、
伊達忠一委員（道政）から、夕張新炭鉱の
再開発問題に関し、通産省へ提示した道案に
対する所見、他の案検討の有無、業界と協議
する考え

土屋良三委員（自民）から、通産省が道案
を拒否した場合の山中前大臣提案の評価及び
位置づけ

宇川源吉委員（自民）から、通産省との対
応策及び検討状況

藤井虎雄委員（社会）から、事務段階での
検討と大臣の決断時期について

質疑及び要望があり、商工観光部長から答弁の後、岩崎守男委員（社会）から、夕張新炭鉱問題に関し、本委員会として意思統一を図り国に対処すべきであるとの発言があり、委員長から理事会において協議する旨応答。理事会開催のため、午後3時24分休憩、午後3時48分再開、委員長から休憩中の理事会における協議結果を報告。

- ④ 土屋良三委員（自民）から、住友赤平炭鉱の人員合理化及び幌内炭鉱の経営状況について
質疑があり、商工観光部長から答弁。

○7月25日（月） 午後7時40分、第11委員会室
において開議、午後7時41分
散会
委員長 伊藤 豪（自民）

- ① 委員長から、夕張地域振興対策に関する要望意見案並びに石炭鉱業及び産炭地域振興対策に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
② 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

○7月26日（火） 午前11時49分、第8委員会室
において開議、午後零時散会
委員長 伊藤 豪（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した夕張新炭鉱再建に関する中央折衝及び衆議院石炭対策特別委員会傍聴の概要について報告書により報告、異議なく了承。
② 商工観光部長及び労働部長から、夕張新炭鉱問題に関する経過について報告の後、藤井虎雄委員（社会）から、北炭夕張新炭鉱離職者について
質疑があり、職業対策課長から答弁。

本日聴取した陳情

夕張地域振興対策について

夕張商工会議所会頭

北方領土対策特別委員会

○6月28日（火） 午後1時23分、第3委員会室
において開議、午後1時34分
散会

委員長 野村 權作（自民）

- ① 領対本部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
② 領対本部長から、衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会の北方領土視察日程について説明。

○7月25日（月） 午後5時11分、第3委員会室
において開議、午後5時16分
散会

委員長 野村 權作（自民）

付託案件の審査

- 議案第8号（北海道北方領土隣接地域振興等基金条例案）を議題とし、領対本部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

その他の議事

- 委員長から、北方領土問題等の解決促進に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。

○7月26日（火） 午前11時27分、第3委員会室
において開議、午前11時38分
散会

委員長 野村權作（自民）

- ① 領対本部長から、「北方領土問題等の解決の促進を図るための基本方針」について説明。
② 領対本部長から、北方領土返還運動要求強調月間の実施について報告。
③ 領対本部長から、外務大臣の北方領土の視察について報告。
④ 領対本部長から、昭和59年度北海道開発関係予算について説明。
⑤ 委員長から、北方領土問題等の解決促進及び昭和59年度国費関係予算に関する中央折衝

の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

公害対策特別委員会

○ 6月28日（火） 午後1時33分、第2委員会室
において開議、午後1時53分
散会

委員長 佐々木行雄（自民）

- ① 委員長から、北海道公害対策審議会委員の推せんについては、佐々木行雄委員長（自民）及び吉野之雄副委員長（社会）を異議なく選出。
- ② 委員長から、道内調査の実施については、異議なく決定、実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 生活環境部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ④ 生活環境部長から、苫東コールセンターの公害防止協定の締結、稚内空港整備事業に係る環境影響評価の実施状況及び水質汚濁防止法に基づく改善命令の発動に関し報告。

○ 7月25日（月） 午後7時7分、第2委員会室
において開議、午後7時15分
散会

委員長 佐々木行雄（自民）

- ① 生活環境部長から、昭和58年公害の状況等に関する年次報告について説明。
- ② 生活環境部長から、水質汚濁防止法に基づく改善命令の発動について報告。

予算特別委員会

○ 7月20日（水） 午後3時19分、第1委員会室
において開議、午後3時31分
散会

委員長 舟山 広治（社会）

正副委員長の互選

- ① 岩瀬正人臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法については、桜井外治委員

（自民）の動議により指名推選の方法をもって舟山広治委員（社会）を委員長に選出。

- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、櫻林巖委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって青山章委員（自民）を副委員長に選出。

- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後3時24分休憩、午後3時27分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うこととは、異議なく決定。

- ④ 各分科会の委員の選任については、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○ 第1分科会委員（15人）

遠藤 常二（社会）	大内 良一（社会）
今津 寛（自民）	小野寺 勇（自民）
浅野 俊一（公明）	大島 一郎（社会）
櫻林 巖（社会）	岩本 允（自民）
中川 義雄（自民）	久田 恭弘（自民）
松崎 義雄（自民）	宇川 源吉（自民）
小野 秀夫（道政）	長岡 寅雄（社会）
若狭 靖（自民）	

○ 第2分科会委員（15人）

伊達 忠一（道政）	岩瀬 正人（自民）
高橋 一史（自民）	平井 進（自民）
柏倉 勝雄（社会）	高橋 庸（社会）
三沢 道男（社会）	神本 三也（社会）
青山 章（自民）	伊藤 弘（自民）
桜井 外治（自民）	吉川 貴盛（自民）
川口 常人（自民）	中崎 昭一（自民）
柳谷 正一（公明）	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選

任並びに所属変更については本委員長において行うことについてはかり、異議なく決定。

- ⑥ 委員長から、付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑨ 本委員会の運営について、正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会を設置しその協議により運営すること及び正副委員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことについてはかり、異議なく決定。

第 1 分 科 会

○ 7 月 20 日（水） 午後 3 時 33 分、第 1 委員会室
において開議、午後 3 時 44 分
散会
第 1 分科委員長
櫻林 巖（社会）

正副委員長の互選

- ① 指名推薦の方法により、分科委員長に櫻林巖委員（社会）、分科副委員長に松崎義雄委員（自民）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各 1 名計 4 名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、岩本允委員（自民）、長岡寅雄委員（社会）、小野秀夫委員（道政）及び浅野俊一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○ 7 月 21 日（木） 午前 10 時 8 分、第 1 委員会室
において開議、午後 5 時 45 分

散会

第 1 分科委員長

櫻林 巖（社会）

① 衛生部所管に対する質疑に入り、

岩瀬 正人委員（自民）から、

地域医療対策に関し、自治体病院の経営実態と国及び道の財政援助措置、道独自の助成措置を講ずる考え、道内の医師の充足状況と地域格差が生じている原因、現在までの医師確保対策及び今後の対応策、看護婦の充足状況と地域格差が生じている原因、看護婦の養成状況及び今後の確保策、道内の保健婦の就業状況と市町村の保健婦の不足数、今後の保健婦の確保計画等について

神戸 典臣委員（自民）から、

食品行政に関し、食品添加物の指定の方法と種類、表示の規制に対する見解、安全性に対する再点検の状況、BHA の使用に対する行政指導、食品衛生調査会の答申にかかる食品添加物の安全性に対する認識と指定された場合に対する道の対応、食品監視員の資格と道内の配置状況、道食品衛生協会への補助金の額と事業内容、観光地の食品衛生対策に対する見解等について

質疑があり、衛生部長から答弁があって、衛生部及び企業局所管に対する質疑を終結。

② 民生部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、大橋晃議員（共産）の本分科会への出席及び民生部所管に対する発言の申し出について、委員の通告質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

岩瀬 正人委員（自民）から、

- (1) 各種施設設置に係る補助制度の効率的活用に関し、効率的な複合施設建設の考え、厚生省と他省庁所管との複合施設設置のための条件、建設年次が異なる場合の取り扱い
- (2) 社会福祉事業振興会の貸付業務に関し、社会福祉法人が施設整備する場合の財源内訳、振興会の貸付条件と担保について改善を要請する考え
- (3) 高齢者就労センターに関し、道内における設置状況、道の助成内容、シルバー人材

センターへの助成内容とに差がある理由

- (4) 沈船泰東丸の捜索と遺骨収集に関し、沈船の確認作業の状況、道が援助する考えと国の積極的な取り組みについて要請する必要性等について

吉川 貴盛委員（自民）から、

- (1) 福祉に係る知事公約に関し、ノーマライゼーションの意味と開かれた福祉との違い、ノーマライゼーション研究センター及びノーマライゼーションエリアの内容、複合老人施設の設置構想と道の助成措置の考え、保育機能の充実のための長期プランの策定時期、夜間保育・延長保育の現状、グループフosterホーム制度の内容、里親手当の増額に対する見解、道立病院に総合療育センターの機能を持たせるための問題点
- (2) 福祉総合計画に関し、発展計画と福祉長計との関連、福祉総合計画策定の目途と基本的性格、知事公約を織り込んだ福祉計画を早期に策定する考え、支庁地区社会福祉協議会の設置目的・財源、事務局体制の強化、福祉推進員の処遇改善の考え、市町村社協の法人化の状況等について

柳谷 正一委員（公明）から、

痴呆性老人対策に関し、老人福祉対策推進委員会における研究結果、58年度の対策の内容、短期保護事業の運用のあり方、相談指導体制の整備の必要性等について

大橋 見議員（共産）から、

肢体不自由児の療育体制に関し、道内における肢体不自由児の療育体制の現状、札幌及び旭川の療育センターの入院状況、札幌の療育センターの外来患者の増加と人的体制の強化の考え等について

質疑があり、民生部長から答弁があって民生部所管に対する質疑を終結。

○ 7月22日（金） 午前10時20分、第1委員会室
において開議、午後4時58分
散会
第1分科委員長

樫林 巖（社会）

- ① 生活環境部所管に対する質疑に入り、

岩瀬 正人委員（自民）から、

国立公園の計画変更に関し、道内の国立公園の計画変更の作業状況、公園計画の基本的な考え方及び変更手続、事務手続の促進の必要性、レジャー施設の整備・利用を考慮した計画変更を行う考え等について

土屋 良三委員（自民）から、

本道における64年国体の開催に関し、国体開催の意義、競技開催市町村の選定状況と未決定種目の今後の見通し、競技施設の整備状況、施設整備に伴う国庫補助制度、道の市町村に対する財政援助措置に対する考え方等について

久田 恭弘委員（自民）から、

原子力環境監視センターに関し、施設整備のための経費、原発の安全性確保に係る国の責務と道が監視を行う必要性、センター建設の今後のスケジュール及び設置予定地、環境モニタリングの対象区域と北電の実施するモニタリングとの関係、環境試料の放射能測定による具体的な機能、防災対策との関連、センター整備のための資金内容等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって生活環境部所管に対する質疑を終結。

- ② 開発調整部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

- (1) 地域複合型産業に関し、地域複合型産業の概念、過疎地域・産炭地域振興対策との関連性
- (2) 総合交通政策に関し、運輸交通審議会の答申の具体的な内容と今後の取り扱い、札幌地方陸上交通審議会の公共交通機関の維持整備方針に係る答申の予定、道都圏の交通体系の確立に対する道の考え方、道都圏における都市総合交通体系の計画策定のための調査の概要等について

橋 浪蔵委員（自民）から、

茨城県大洗港と本道とのカーフェリー航路開設に関し、本道側受入れのための室蘭・苫小牧両港の比較表の公表の有無、資料作成にあたって両港関係機関との協議の有無、資料の具体的内容に対する疑義等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

○7月23日(土) 午前10時13分、第1委員会室
において開議、午後6時22分
散会

第1分科委員長

樫林 巖(社会)

① 開発調整部所管に対する質疑の続行、

開発調整部長から、昨日の橋浪蔵委員(自民)の質問に対する答弁の後、引き続き、

橋浪蔵委員(自民)から、茨城県大洗港と本道とのカーフェリー航路の開設に関し、室蘭、苫小牧両港の係船料の比較、大洗航路の開設に伴う既存ルートへの影響、フェリー会社の航路免許申請の状況、室蘭・苫小牧両港の運賃及び輸送時間の比較等について

岩本 允委員(自民)から、

長期計画に関し、長期展望調査費の提案理由、調査の方法と期間、新長期計画との関連、国の四全総の策定スケジュールと開発庁の新北海道総合開発計画策定に係る動向、新長期計画策定に対する道の体制及び開発庁との連携を緊密にした取り組みの必要性等について

寺崎 政朝委員(自民)から、

(1) 滝里ダムの建設に関し、建設計画の現状及び事業費の執行状況、建設着工のための手続、基本計画作成の見通し、道議会への議案提出の時期、ダム建設に伴う水没の状況と水没関係者対策

(2) 忠別ダムの建設に関し、建設計画の現在までの経過及び事業費の執行状況、関係機関及び地元関係者との協議状況、明年度の開発予算における新規着工予算計上の実現見通し及び強力な国への要請の必要性等について

小野 秀夫委員(道政)から、

(1) 茨城県大洗港と本道とのカーフェリー航路開設に関し、57年7月における苫小牧港港湾計画の一部変更に伴う確認書の受けとめ方、本道側港湾決定にあたっての基本姿勢

(2) 長期計画に関し、全国総合開発計画、北海道開発計画及び長期計画相互の関連性、新長期計画の策定の目途と国の計画との整合性確保の方法、長期展望の目標年次等について

ついて

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があつて開発調整部所管に対する質疑を終結。

② 公安委員会所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、大橋晃議員(共産)の本分科会への出席及び公安委員会所管に対する発言の申し出について、委員の通告質疑終了後これを許可することををはかり、異議なく決定の後、

相沢 武彦委員(公明)から、

(1) 騎馬警察隊の導入に関し、ニューヨーク警察の騎馬隊編成の目的、訓練状況、日本における騎馬警察隊の編成の状況、道警察に騎馬隊を導入することについて検討する考え

(2) 覚せい剤等の乱用防止に関し、覚せい剤の道内持ち込みの実態、関係機関との連携による取り締まり強化、麻薬捜査犬の使用について検討する考え、覚せい剤乱用者の検挙後の措置、再犯率の状況と再犯防止対策、シンナー等乱用少年の増加原因、販売業者に対する規制

(3) 暴走族対策に関し、暴走族の取り締まりの現状、保安基準不適合車の取り締まり状況及び押収車の保管場所に要する予算措置、暴走族少年に係る家庭及び学校との連携強化の必要性等について

大橋 晃議員(共産)から、

函館市における射撃場建設計画に関し、小学校隣接地に設置することに反対する市議会議員代表の面会を拒絶したことの適否、射撃場建設計画に対する市議会の反対決議の受けとめ方、PTA関係者等の反対意見に対する対応のあり方、函館市が提示した代替地に対し検討の考え等について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長、総務部長、警務部長、防犯部長及び交通部長から答弁があつて、公安委員会及び各種委員会所管に対する質疑を終結。

○7月25日(月) 午前10時18分、第1委員会室
において開議、午後零時22分
閉会

第1分科委員長

樫林 巖(社会)

① 総務部所管に対する質疑に入り、

佐々木 行雄委員（自民）から、

一村一品運動に関し、村おこし町おこし運動と地場産業振興との関係、一村一品運動の展開のための方策と今後のスケジュール等について

中川 義雄委員（自民）から、

政教分離と慰霊祭への参列等に関し、政教分離と信教の自由との関係、憲法第20条及び第89条の解釈、市町村が慰霊祭を主催することに関して道が指導を行う根拠、護国神社例大祭等に対する取り扱いに係る民生部長通知が出された経緯、宗教的行事への知事・職員の参加の適否の基準、第1審判決である箕面判決を重視することの妥当性等について
質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって総務部所管に対する質疑を終結。

② 分科委員長から付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

第2分科会

○7月20日（木） 午後3時34分、第2委員会室
において開議、午後3時52分
散会

第2分科委員長

桜井 外治（自民）

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長に桜井外治委員（自民）、分科副委員長に神本三也委員（社会）をそれぞれ選出。

② 付託案件の審査日程、質疑の方法等について協議決定した。

③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、吉川貴盛委員（自民）、高橋庸委員（社会）、伊達忠一委員（道政）及び柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。

④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。

⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○7月21日（木） 午前10時13分、第2委員会室
において開議、午後5時19分
散会

第2分科委員長

桜井 外治（自民）

① 土木部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

- (1) 道路問題に関し、第9次道路整備5箇年計画の総額と計画内容、道路整備の基本方針、第8次計画との相違点、新5箇年計画の王道枠、昭和63年3月末の北海道の道路整備状況の見込み及び第9次道路整備計画の中での高速自動車国道の位置づけ、第9次計画終了時の高速道路の供用予定延長、整備計画区間の施工状況及び今後の見通し
- (2) 急傾斜地崩壊防止対策に関し、崩壊危険箇所の実態把握と点検基準、崩壊危険区域の指定基準と指定状況、急傾斜地崩壊防止工事の採択基準と実施状況、国の急傾斜地崩壊防止対策事業5箇年計画と道のこの事業推進の所見について

寺崎 政朝委員（自民）から、

- (1) 中小河川の治水対策に関し、中小河川の整備現状、改修に要した事業予算と事業量、河川改修事業を促進するための特定財源の創設を検討する考えについて
- (2) 石狩川水系の治水対策に関し、昭和56年の洪水後の新たな対策と整備状況、道工事河川区間の進捗状況と完成の見通し、忠別ダムの調査と今後の見通し、伏古川総合治水対策特定河川事業の実施状況、千歳川放水路計画の概要と調査の現況及び石狩川流域の総合的な治水対策の推進について

中崎 昭一委員（自民）から、

- (1) 職員の研修等に関し、人事に対する基本的な考え方、職員の士気高揚のための方策、研修の状況
- (2) 工事管理に関し、工事の前倒し発注と工事発注の平準化、余裕ある工期の設定、中小建設業者に対する早期発注及び格付けのあり方等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって土木部所管に対する質疑を終結。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

佐々木 行雄委員（自民）から、

- (1) 既存住宅の改善対策に関し、増改築あるいは防寒上改良を必要とする住宅戸数の現況と改善対策、寒地建築研究所における住宅の防寒改修などについての研究と普及活動、住宅改善に係る相談窓口、業者指導に対する認識と対策、住宅改善促進協議会の整備拡充の考え及び住宅金融公庫の資金の利用状況と道の融資制度新設の考え
- (2) 借家の居住水準の向上対策に関し、木造賃貸住宅の現状把握、57年に行った民間木造賃貸住宅の実態調査と改善対策及び各種制度の活用状況、木造賃貸住宅改良資金制度の目的と必要性、制度の具体的内容、貸付限度額の根拠、制度利用の見通しと見直しの考え

高橋 庸委員（社会）から、

身体障害者住宅に関し、重度身障住宅の建設計画と今後の需要見込み、建設にあたっての民生部との協議状況、身障者住宅の建設にあたってイージーオーダー方式を採用する考え、スウェーデンのフォーカスアパートを目指す考え、公営住宅の床面積について公住法の制限いっぱいまで広げる努力と障害者のニーズに合わせた対応策、公営住宅に関する入居制限の改正を国に求める決意、身体障害者の持ち家制度の促進と住宅供給公社制度利用の場合の優遇措置対策等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

③ 農地開発部所管に対する質疑に入り、

操上 良宏委員（自民）から、

- (1) 第三次土地改良長期計画に関し、計画の基本的な考え、第二次計画の事業量、実績と全国に対する比率、第三次長計と地域長計との関連、第三次長計における北海道枠、地域農業基盤整備調査計画の考え方と内容、地元農家の負担軽減策と農業基盤整備の推進についての考え方について
- (2) 土地改良事業の経営指導に関し、土地改良区運営の現状認識、都市化の進行に対す

る農業用排水路の機能強化の具体策、土地改良施設の大規模化に伴う維持管理問題、土地改良区の統合整備対策と育成指導強化策等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。

④ 水産部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

- (1) 水産物の消費対策に関し、シーフーズ・ショップの実施内容、その成果と消費者の反応、この種事業の取り組みに対する見解及び全国的消費規模拡大の決意
- (2) 日朝の漁業問題に関し、日朝の民間協定に対する取り組み、知事訪朝の考え
- (3) 韓国漁船問題と漁業水域法に関し、この問題の対応スケジュールと取り組み姿勢、水産庁及び外務省を含めての両国間の折衝と知事訪韓の決意等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって水産部所管に対する質疑を終結。

○7月22日（金） 午前10時33分、第2委員会室において開議、午後5時5分散会

第2分科委員長

桜井 外治（自民）

① 商工観光部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、大橋晃議員（共産）の本分科会への出席及び商工観光部所管に対する発言の申し出について、委員の通告質疑終了後これを許可することををはかり、異議なく決定の後、

平井 進委員（自民）から、

中小企業問題に関し、倒産関連資金を利用するための倒産企業の認定状況、倒産件数に比べて認定件数が少ない理由、認定基準負債総額5,000万円を緩和する考え

佐々木 行雄委員（自民）から、

- (1) バイ・ホッカイドウ運動に関し、道産品愛用運動の拡充強化策と効果、バイ・ホッカイドウ運動と名称変更したメリット、北海道物産まつりの具体的な開催計画、一村一品運動とバイ・ホッカイドウとの相互関連、バイ・ホッカイドウ・プロダクツの意

味、物産まつりの開催による販路拡大の効果、優良道産品の推奨制度の評価と今後の取組み、道産品優先使用の方策と積極的推進対策

- (2) 大型店問題に関し、大型店の出店抑制措置に伴う地場資本大型店への影響、最近の中規模店の出店状況等、中規模店出店指導要綱による地場資本の大手企業の規則と道内中堅企業への行政的配慮について
- (3) 広域商圏の動向調査に関し、中学校通学区を調査区域に採用した理由、標本抽出方法の妥当性、調査結果の活用方策、大型店出店審査の調整及び慎重な配慮について
- (4) テクノポリスに関し、開発構想策定地域指定の条件、函館地域に導入する先端技術産業の種類、テクノポリス指定の財政上・技術上援助の必要性、長岡新都市建設構想懇談会のメンバー構成及び通産省のテクノポリス構想のメンバー構成、北海道の現体制に対する認識、函館ほか18地域のキャッチフレーズ、函館地域指定の見通しと全国状況の把握、函館地域周辺の土地高騰に対する対策について
- (5) 技術交流プラザに関し、技術交流プラザ運営の効果と評価、本事業運営の実態と助言者の人材確保の考え、他府県の運営実態、技術開発力の機能発揮の所見、プラザ指導機関である中小企業事業団に技術援助を要請した事実の有無、開発手法等具体的援助を受ける考えについて

伊達 忠一委員（道政）から、

石炭産業の振興に関し、石炭産業経営に対する道の努力、道内炭鉱の保安技術員と鉱員の比率、道内保安教育の実績、保安技術職員の確保対策、夕張工業高校の地質工学科の設置場所の検討について

大橋 晃議員（共産）から、

テクノポリス建設問題に関し、開発計画が函館市主体から都道府県主体となった経過、母都市の基準が20万人から15万人となった理由、函館市が発表した構想と道のかかわり、事業費の道・市町村の負担割合、テクノポリス函館基金協会の基金と道の負担額、工業団地の用地取得問題、テクノポリスと環境保全

の関係、テクノポリスと地域経済のかかわり、誘致企業のチェック体制、テクノポリス圏の雇用問題等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があつて商工観光部所管に対する質疑を終結。

② 労働部所管に対する質疑に入り、

岩瀬 正人委員（自民）から、

高齢者の福祉問題に関し、高齢者就労センターとシルバー人材センターの設置目的等の違い、シルバー人材センター加入の資格要件、シルバー人材センターの設置要件と助成条件、道内のシルバー人材センターの設置状況と事業費、シルバー人材センターと高齢者就労センターの窓口を一本化する考え及び設置基準等の公平化に対する見解等について

柏倉 勝雄委員（社会）から、

職業訓練問題に関し、職業訓練校が地元を果たしてきた機能と役割、卒業者の追跡調査実施の有無、支庁単位ごとの訓練科目の見直し、訓練技法の高度化に備えた体制整備の考え及び職業訓練研究センターの設置と指導員の確保対策等について

小田部 善治委員（自民）から、

- (1) 雇用問題に関し、北海道の雇用失業情勢の把握状況と全国水準、常用有効求人倍率が全国で下位から6番目の原因、地域的な特性を含めた雇用政策の状況、函館・室蘭など特定不況地域の対処策、雇用調整基金等の活用と今後の力点、特定不況業種・地域雇用安定特別措置法等の活用及びその他の手順について
- (2) 身体障害者の雇用に関し、身体障害者雇用率の達成状況と未達成企業に対する指導、雇用率を超えて身障者を雇用した事業主に対する経済的な負担軽減策
- (3) 季節労働者の雇用に関し、通年雇用化を目指しての取り組み方、季節労働者の道内外の実態と道外対策に対する考え、企業ぐるみ道外就労対策について
- (4) 婦人の雇用に関し、婦人のための職場確保と職業相談の場整備の考え、婦人の能力開発対策、地域職業訓練校の婦人への活用、育児休業制度の普及と企業内保育施設の整備推進について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって労働部所管に対する質疑を終結。

○7月23日（土） 午前10時10分、第2委員会室
において開議、午後5時56分
閉会

第2分科委員長

桜井 外治（自民）

① 林務部所管に対する質疑に入り、

小野寺 勇委員（自民）から、

- (1) 造林の推進対策に関し、本道民有林の位置づけと今後の見通し、造林面積、造林実績等の推移と対策、個人のみでなく中小企業を含めるなど人工林育成特別対策事業の見直し及び具体策について
- (2) カラマツ人工林の間伐に関し、無間伐森林の割合と今後の間伐計画、高齢林の間伐等行政指導の推進、間伐事業の事業主体の対策、不在村者所有民有林の実態、不在村者対策の現在までの成果と今後の施策、民有林活性化対策事業の具体的内容について
- (3) カラマツの種子価格に関し、カラマツ種子の採取と貯蔵管理の状況、道森林組合連合会に活力のなくなった種子が多量にある実態、種子の管理システムと価格の設定方式、種子価格安定の具体策、貸付金制度を見直す所見について
- (4) 種苗の被害に関し、今回の異常気象による苗畑の被害状況と救済対策、民営苗畑共済会の実態と道の特例救済措置について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

② 農務部所管に対する質疑に入り、

平井 進委員（自民）から、

稲作の振興に関し、第2期減反の本道への傾斜配分に対する受けとめ方、本道の農家戸数の減少の原因、第3期水田利用再編対策の決定時期と内容、道の農業発展方策とのかかわり、本年度の米価に対する受けとめ方、稲作農家の負債の現況、最近の米の需給状況、道産米の消費状況と道内での消費拡大策、良質米の普及、開発の取り組み等について

三沢 道男委員（社会）から、

酪農問題に関し、優良乳用種雄牛選抜事業

の目的及び内容、検定済みの種雄牛の数と利用状況、乳牛の改良方針と産肉性を高める必要性、指定生乳生産者団体の役割り、受託販売委員会の委員構成等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって、農務部所管に対する質疑を終結。

③ 教育委員会所管に対する質疑に入り、

綿貫 健輔委員（自民）から、

児童・生徒の部活動に関し、部活動の実態と参加状況、教師の指導状況、部活動の位置付けに対する見解について

平井 進委員（自民）から、

- (1) 僻地手当に関し、手当支給の趣旨と支給実態、僻地校に勤務する教員の数、市街地に居住し通勤している場合の手当支給の妥当性
 - (2) 指導主事の学校訪問に関し、学校訪問を行う法的根拠及び手続、道内の実施率、学校訪問がなされていない理由と未実施校の解消策
 - (3) 小・中学校の授業時間数に関し、授業時間不足解消に対する指導の徹底等について
- 質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって教育委員会所管に対する質疑を終結。
- ④ 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。
- ⑤ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

○7月25日（月） 午後4時5分、第1委員会室
において開議、午後6時11分
閉会

委員長 舟山 広治（社会）

① 分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② 知事に対する総括質疑に入り、

吉川 貴盛委員（自民）から、

福祉に係る知事公約に関し、福祉の充実のためのボランティア活動推進の重要性に対する認識、ノーマライゼーションエリアの意味とこれまでの「障害者の住みよい町づくり」との違い、複合老人福祉施設構想と問題点、

児童福祉に係る長期プランの策定期間、保育に対するニーズの多様化と家庭の役割に対する認識、一時保育の具体化方策、肢体不自由児対策として道立病院の機能充実策、人材確保の見通し及び施設整備の考え方、福祉総合計画の策定期間と知事公約との関連等について

中川 義雄委員（自民）から、

政教分離に関する知事の政治姿勢に関し、憲法第20条の解釈及び津地鎮祭訴訟最高裁判決の受けとめ方、護国神社例大祭等への参加を差し控えるとする民生部長通知の真意と市町村に与える影響、宗教行事を伴う行事について知事の参加・不参加の基準、第1審判決である箕面判決をそんたくした理由、道戦没者追悼式及び北霊碑の慰霊祭に参加することの矛盾等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があり知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため、午後5時45分休憩、午後6時8分再開。

- ③ 委員長から、議案第1号ないし第7号、第15号ないし第26号及び第33号について、原案可決とすることについてはかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。
- ⑤ 委員長から、付託案件の審査終了にあたってあいさつがあった。



全国都道府県議会議長会

○7月12日（火） 都道府県会館において臨時総会を開催。会長（東京都議長）のあいさつ及び日本海中部地震の災害見舞を述べるとともに、本会として、政府、政党方面に対し、万全の対策を講ずるよう要望した旨の報告並びに被害を受けた各道県を代表し、秋田県議長から、お礼のあいさつがあった。次に、役員選出について、役員選考委員会を設置のうえ、休憩に入り、再開、役員会選考委員長 報告のとおり、会長には、兵庫県議長、副会長に、北海道、福島県、山梨県、福井県、大阪府、島根県、高知県及び鹿児島県各議長、理事には、宮城県、千葉県、岐阜県、奈良県、山口県、愛媛県及び熊本県各議長、監事には、秋田県、富山県及び徳島県各議長を選任した。次いで、新旧役員代表のあいさつの後、引き続き、各委員会正副委員を選任決定した。次に、北海道東北ブロックから、昭和58年産米価について、政府関係方面に要望されたいとの申し出があったので、この取扱いについては、会長に一任することに了承し、閉会した。

○7月12日（火） 全議会議室において役員会を開催。会長（兵庫県議長）のあいさつに引き続き、協議に入り、全議事務総長から、昭和58年度本会行事計画について説明の後、原案のとおり承認して閉会した。

○7月22日（金） 都道府県会館において役員会を開催。会長（兵庫県議長）のあいさつの後、協議に入り、第81回定例総会提出議案について、各委員長及び副委員長からの報告のとおり、決定し、「地方財政の確立に関する決議案」ほか1件を役員会提出として決定。次に、第81回定例総会の日程及び運営について、全議事務総長から説明のとおり了承、次いで、定例総会の決議事項の要望運動方法について説明の後、原案のとおり決定し、閉会した。

○7月28日（木） 都道府県会館において第81回定例総会を開催。会長（兵庫県議長）のあいさつに引き続き、来賓の内閣総理大臣並びに自治大臣のあいさつの後、議事に入り、役員会提出の「行政改革の推進に関する決議」及び「地方財政の確立に関する決議」を原案のとおり決定の後、各委員長から委員会における提出議案の審議経過と結果について報告の後、いずれも原案のとおり決定、次いで、要望事項の取り扱いについて、会長に一任することを了承し、閉会した。

地方制度委員会関係

- 1 行政改革の推進について
- 2 地方財政の充実強化について
- 3 青少年の健全育成対策について
- 4 北方領土の早期返還について

社会文教委員会関係

- 1 痴呆性老人対策について
- 2 医療ソーシャルワーカーの制度化促進について
- 3 腎臓移植の組織・設備の充実について
- 4 川崎病（急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群）の予防及び治療について
- 5 自治体病院の経営健全化対策について
- 6 老人被爆者医療費地方負担の財政措置について
- 7 環境保全対策の推進について
- 8 スパイクタイヤ対策について
- 9 長距離自然歩道整備事業の促進について
- 10 高等学校の新增設に対する国庫補助制度の拡充強化について
- 11 体育・スポーツ施設の整備充実について
- 12 文化財の保存・管理対策について

商工労働委員会関係

- 1 景気対策の推進について
- 2 中小企業の経営基盤の強化について
- 3 電源地域振興のための特別措置法の制定について

建設運輸委員会関係

- 1 住宅対策の推進について
- 2 道路整備の促進について
- 3 下水道整備の促進について
- 4 治水事業の推進について
- 5 急傾斜地崩壊対策事業の推進について

- 6 法定外公共物の管理責任及び経費負担等の明確化について
- 7 違反屋外広告物の排除について
- 8 地域振興対策の推進について
- 9 震災対策の推進について
- 10 地盤沈下防止対策の推進について
- 11 鉄道輸送網の整備と輸送力の強化等について
- 12 地方空港の整備促進について
- 13 港湾整備事業の促進について

農林水産委員会関係

- 1 農業基本政策の強化について
- 2 水田利用再編第3期対策について
- 3 畜産経営の安定と拡充強化について
- 4 農畜水産物の輸入自由化及び枠拡大反対について
- 5 林業振興対策について
- 6 漁業振興対策について

第98国会提出法律案件名及び成立状況などについて説明があり、閉会した。

- 1 医療ソーシャルワーカーの制度化促進について
- 2 中小企業の経営基盤の確立について
- 3 電源地域振興のための特別措置法の制定について
- 4 東北新幹線、北海道新幹線及び青函トンネルの建設促進について
- 5 高速自動車道の早期建設について
- 6 地方空港の整備と国際化について
- 7 スパイクタイヤの被害対策について
- 8 公共投資の傾斜配分について
- 9 水田利用再編対策について
- 10 牛肉、オレンジ、りんご果汁等農産物の輸入自由化及び枠拡大の阻止について
- 11 良質米奨励金等自主流通米助成の継続について
- 12 次期さけ資源増大計画の樹立について

都道府県議会議員共済会

○7月12日（火） 都道府県会館において代議員会を開催。会長（兵庫県議長）のあいさつの後、議事に入り、まず、会期を本日限りとし、次いで、会議録署名者を決定の後、昭和57年度本会決算について、全議事務総長から、説明の後、監事から、監査結果報告があり、異議なく認定し、閉会した。

北海道・東北6県議会議長会（第64回）

○6月1日（水） 青森市において開催。地元青森県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、秋田県議長から、前回議決事項の処理結果報告。次に、秋田県副議長から「日本海中部地震による被害対策について」緊急提案があり、原案のとおり決定。引き続き、次の事項について、順次協議、決定し、議決事項の処理方法について、12議案をすべて、政府関係機関に陳情することとし、次回開催地を山形県に決定。次に、全議事務総長から、日本海中部地震災害に対する緊急要望及び

資 料

第2回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道北方領土隣接地域振興等基金条例	7. 25	7. 28	北海道条例第18号
北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第19号
北海道日雇労働者就職促進等助成条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第20号
北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第21号
北海道警察組織条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第22号
警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第23号
北海道税条例の一部を改正する条例	同	8. 1	北海道条例第24号

道内主要政党及び道議会内各派役員一覧 (昭和58年8月末現在)

○ 自由民主党

会 長	地 崎 宇三郎	同 副 本 部 長	増 井 貞一郎	教育振興 特別委員長	高 木 繁 光
副 会 長	安 田 貴 六	同	平 井 進	同 副 委 員 長	木 本 由 孝
同	三 枝 三 郎	総 務 会 長	大 平 秀 雄	同	国 本 康 夫
同	北 修 二	同 副 会 長	野 村 權 作	同	田 畑 光 雄
同	西 尾 六 七	同	古 川 靖 晃	北方領土復 対策本部長	佐々木 利 昭
同	松 浦 義 信	同	中 崎 昭 一	同 副 本 部 長	佐々木 行 雄
同	作 田 政 次	同	高 木 繁 光	同	高 橋 一 史
幹 事 長	藤 井 猛	同	佐 藤 静 雄	同	今 津 寛
幹 事 長 代 行	石 山 直 行	同	山 口 眞 人	スバイ防止法制定 促進特別委員長	中 崎 昭 一
副 幹 事 長	吉 川 貴 盛	政 務 調 査 会 長	新 沼 浩 治	同 副 委 員 長	和 田 勝 之
同	酒 井 芳 秀	同 副 会 長	桜 井 外 章	災害対策委員長	藤 井 猛 一
財 務 委 員 長	笹 浪 幸 男	同	青 山 良 三	同 副 委 員 長	吉 田 政 秀
同 副 委 員 長	高 橋 賢 一	同	土 屋 良 允	同	大 平 昭 浩
同	藤 井 猛 弘	同	岩 本 義 雄	同	新 沼 井 猛 弘
組 織 委 員 長	伊 藤 忠 義	同	中 川 善 治	入党資格審査 委員長	伊 藤 政 一
同 副 委 員 長	大 野 勇 彦	同	小 田 部 義 男	同 副 委 員 長	吉 田 源 吉
同	小 野 寺 典 臣	選 挙 対 策 委 員 長	野 間 常 人	同 副 会 長	宇 川 岡 正 男
同	出 村 隆 介	同 副 委 員 長	若 狭 薫 司	同	水 岡 本 允 介
同	神 戸 政 喜	同	川 野 眞 平	同 幹 事 長	青 岩 生 中 川 義 章
同	生 高 橋 弘 人	同	吉 野 行 之 明	同 副 幹 事 長	岩 本 隆 義 外 允 盛 薫 平
同	高 田 恭 一	党 紀 委 員 長	宇 野 康 正 一郎	同	生 中 川 山 井 本 川 貴 盛 薫 平
広 報 委 員 長	久 岩 瀬 上 良 一	同 副 委 員 長	佐々木 橋 正 徳 一 才 次 勤 浩 吉 雄	同 政 策 審 議 委 員 長	中 青 桜 岩 吉 水 宇
同 副 委 員 長	操 木 戸 浦 井 芳 健 寿 雄 之 豪 雄 蔵	同	高 高 水 丸 作 武 新 宇 中	同 副 委 員 長	青 桜 岩 吉 水 宇
同	木 戸 浦 井 芳 健 寿 雄 之 豪 雄 蔵	会 計 監 督	高 高 水 丸 作 武 新 宇 中	同	青 桜 岩 吉 水 宇
同	酒 井 貫 藤 寿 雄 之 豪 雄 蔵	同	水 丸 作 武 新 宇 中	同	青 桜 岩 吉 水 宇
同	綿 佐 藤 寿 雄 之 豪 雄 蔵	同	丸 作 武 新 宇 中	同	青 桜 岩 吉 水 宇
同	佐 藤 寿 雄 之 豪 雄 蔵	同	作 武 新 宇 中	同	青 桜 岩 吉 水 宇
同	和 田 勝 義 浪	同	武 新 宇 中	同	青 桜 岩 吉 水 宇
同	伊 松 崎 浪	同	新 宇 中	同	青 桜 岩 吉 水 宇
同	橋	同	中	同	青 桜 岩 吉 水 宇

○ 日 本 社 会 党

執行委員長	対馬孝且	国民運動局長	滝口豆	会計監査	刈屋富治
副執行委員長	新村源雄	教宣局長	仲下哲哉	道議会議員会長	原清重
同	中沢健次	国際局長	田部誠	同副会長	中田繁夫
同	村吉勇次郎	機関紙局長	菊地一夫	同幹事長	保格博夫
選対委員長(兼務)	青木延男	国民生活局長	椿原定男	同副幹事長	長岡寅雄
書記長	西本美嗣	政策審議委員長	熊谷克治	同政策審議委員長	熊谷克治
書記次長(兼務)	森敏捷	財務委員長	星野健三	同副委員長	吉田英治
組織局長	久志本秀夫	道議会对策委員長	保格博夫	同	小田原要四蔵
労働局長	神本三也	札幌市対策局長	湯本芳志		
農漁民局長	水山正美	指定都市議会对策委員長	向川武夫		
中小企業局長	中田繁夫	統制委員長	中西仁郎		
地方政治局長	小林雪夫	会計監査	杉山博康		
青少年局長	島垣麗子	同	菊地唯夫		
婦人局長					

○ 道 政 ク ラ ブ

議員会長	石川十四夫	副幹事長	木下一見	政策審議会副会長	中川隆之
同副会長	高田忠雄	同	高田忠雄	同	大野新生
幹事長	小野秀夫	政策審議会長	西村慎一		

○ 公 明 党

本部長	野村光雄	農林局長	工藤啓二	道民運動本部長	相沢武彦
副本部長	鯉登義夫	水産局長	柳谷正一	選挙対策委員長	鯉登義夫
書記長	浅野俊一	広報宣伝局長	高原弘	顧問	宮崎正義
副書記長	高橋 欽	青年局長	丹野勝	同	藤原房雄
同	乙川節郎	教育局長	吉田恵悦	同	斉藤 実
同	柴田政邦	文化局長	山本長和	道議会議員団長	高橋 欽
組織局長	乙川節郎	婦人局長	江里口英子	同幹事長	伊藤武一
議会局長	高橋 欽	庶務局長	合浦賢	同副幹事長	工藤啓二
政策局長	伊藤武一	地方統制委員長	緒方博愛	同政策審議会長	相沢武彦
労働局長	田畔 満	地方会計監査委員	大賀 操		
中小企業局長	本館嘉三	同	西島健郎		

○ 日 本 共 産 党

委 員 長	宮 本 忠 人	常 任 委 員	高 橋 昭 一	常 任 委 員	森 元 昌 輔
書 記 長	越 前 小 平	同	鍋 谷 洲 春	同	大和田 基 夫
副 委 員 長	高 島 信 敏	同	武 藤 和 三 郎	同	菅 間 慧 一 夫
同	市 山 吉 次	同	吉 田 寛 義	同	寺 井 勝 夫
同	児 玉 健 次	同	猪 股 嘉 子	同	本 間 喜 代 人
同	多 田 光 雄	同	佐々木 武	同	山 口 照 和
常 任 委 員	阿 部 勘 吾	同	滝 本 昭 雄 子	道 議 会 議 員 団	大 橋 晃
同	岡	同	外 尾 静 子		

○ 民 社 党

常 任 顧 問	小 平 忠	同	神 崎 征 教	議 会 対 策 委 員 長	清 水 關
執 行 委 員 長	戸 部 卯 吉	事 務 局 長 兼 長	谷 口 忠 義	農 林 漁 業 委 員 長	鎌 田 明 義
副 執 行 委 員 長	池 田 敏 雄	教 宣 局 長	工 藤 寛	中 小 企 業 委 員 長	菅 原 敏 人
同	吉 田 行 儀	選 挙 対 策 委 員 長 (兼)	池 田 敏 雄	青 年 学 生 委 員 長	大 島 秋 夫
書 記 長	風 早 俊 男	組 織 局 長	上 原 毅	婦 人 対 策 委 員 長	遠 藤 る ぎ 子
副 書 記 長	毛 利 隆 勝	政 策 審 議 会 長	中 田 猛 之		
同	森	財 務 委 員 長	田 中 正 之		

6 月 の メ モ

- 2日 ○文部省が全国調査した中・高校の校内暴力状況によると全公立中の7校に1校、全公立高の10校に1校の割合で校内暴力が発生。
- 3日 ○第13回参院通常選挙公示。政党名で投票の比例代表（旧全国区）と、これまで通りの選挙区（旧地方区）の二本立ての選挙がスタートした。
- 標茶町の同町育成牧場で、飼育中の綿羊74頭が野犬にかまれ死傷。
- 5日 ○北炭夕張新炭鉱開発で、道が石炭業界の経営主体となる新会社に出資の方針を固める。
- 6日 ○国鉄は合理化の柱となる本年度の要員削減計画案をまとめ、28,900人の削減を提示する。
- 第6回国連貿易開発会議がベオグラードで開催される。
- 8日 ○レーガン米大統領はジュネーブで再開された米ソ戦略兵器削減交渉へ柔軟な対応の新提案を示す。
- 10日 ○山中通産相は病気を理由に辞任。北炭夕張新炭の再開発に独自案を示した同通産相の辞任で、北炭問題は新たな局面を迎えた。
- 11日 ○インドネシアで今世紀最大級の皆既日食を観測。
- 13日 ○土別市の産婦人科医院で暖房が過ぎ新生児3人死亡。
- 14日 ○道東の太平洋上で小型サケ・マス流し網漁船が転覆し、乗組員1人は死亡、2人は行方不明となった。
- 15日 ○ロッキード裁判「丸紅ルート」の最終弁論が始まった。
- ILO条約勧告委員会が日本に対し、スト権のない公務員の範囲について再検討を要望する勧告を採択。
- 16日 ○一連の爆弾事件の容疑者、加藤三郎は、京都・東本願寺大師堂爆破など8件の爆弾事件と平安神宮の放火事件の犯行を認める供述をした。
- ソ連最高会議はアンドロポフ共産党書記長を、最高会議幹部会議長（国家元首）に選出した。
- 17日 ○知事は宇野通産相を訪ね、北炭夕張新炭鉱再開発に関し、新会社構想に対する「道案」を提出した。
- 18日 ○中国第6期全国人民代表大会で、国家主席に李先念政治局常務委員、国家中央軍事委主席に鄧小平中央顧問委主任、全人代常務委員長に彭真政治局員を選出した。
- また、國務院総理には趙紫陽首相を再選。
- 米国初の女性宇宙飛行士サリー・ライドさんを乗せたスペースシャトル「チャレンジャー」がケネディ宇宙センターから打ち上げられた。
- 21日 ○外務省はコンピューター関連の日本の高度技術を不正に入手しようとしたとして、ビノグラード駐日ソ連大使館一等書記官に国外退去を求めた。
- 24日 ○シリア政府はアラファト・パレスチナ解放機構（PLO）議長に対し、シリアからの国外退去を要求し、今後入国を認めないと通告し、アラファト議長とシリア政府の決定的対立に発展した。
- 横路道政初の政策予算として、昭和58年度第1次補正予算案が発表された。（公約の一村一品運動や「市町村サミット」の開催等が含まれている）
- 26日 ○第13回参院通常選挙は、即日開票で選挙区改選の76議席中、自民党は44議席を占めた。翌日開票では、自民党は比例代表選挙で19議席を確保、選挙区で5議席を上乗せし、改選議席を上回る68議席の「絶対多数」を占めた。一方、社会党は改選26議席を割った。比例代表選挙で公明、共産、民社の各党が善戦、サラリーマン新党、福祉党、第二院クラブが議席を獲得。
- 米女子プロゴルフツアーのロチェスター・インターナショナルで岡本綾子が優勝。
- 29日 ○第2回定例道議会開会

7 月 の メ モ

- 1 日 ○北炭夕張新炭鉱の再開発問題で宇野通産相は、日本石炭協会の有吉新吾会長に、道案について考えを聞いたが、同会長は再開発事業は採算、保安上で極めて難しいとの見解を示し、経営主体となることを事実上拒否した。
- 政府は臨調答申の実施状況を監視する臨時行政改革推進審議会の委員として土光敏夫・元臨調会長ら 7 人を正式決定。
- 米政府は日本の残存輸入制限農産物のうち、トマトジュースなど 13 品目を関税貿易一般協定 11 条違反でガットに提訴した。
- 3 日 ○米国のコロラドスプリングスで開かれた陸上競技で、カルビン・スミス（米国）が 100 メートルに 9 秒 93 の世界新をマーク、また女子 100 メートルでもエベリン・アシュフォード（米国）が 10 秒 79 の世界新を出した。
- 6 日 ○終戦直後、小平町沖合で国籍不明の潜水艦攻撃を受け沈没した樺太（サハリン）からの引き揚げ船泰東丸（880 トン）とみられる船体が発見され、遺品などが引き上げられた。
- 7 日 ○飛鳥田社会党委員長、今期限りの退陣を表明
- 11 日 ○宇野通産相は北炭夕張新炭鉱の再開発について「保安の確保、経済性などの点で実現性を見い出せなかった」として、正式に再開発断念を表明するとともに横路道知事、日本石炭協会長に通告した。
- 12 日 ○政府は昭和 59 年度予算概算要求枠は、防衛費は前年度比 6.88 % 増。公共事業費は前年度比 5 % 減など一般歳出伸びは 1.01 % とこれまで最低の厳しい編成方針を示す。
- 「松山事件」の斉藤幸夫被告の再審初公判が死刑確定から 23 年ぶりに仙台地裁で開かれる。
- 58 年産米の生産者米価で政府、自民党は基本米価の 1.75 % 引き上げを米価審議会

に諮問することで合意した。

- 15 日 ○「免田事件」で、死刑が確定した免田栄被告に対する再審判決公判で、熊本地裁八代支部は全面無罪を言い渡した。死刑囚に対する再審判決は同事件が裁判史上初めてである。
- 18 日 ○第 99 臨時国会が召集され、参院議長に自民党の木村睦男元運輸相、副議長に社会党の阿具根登前党副委員長を選出した。
- テヘランで行われていたイラン・ジャバン石油化学の工事再開交渉で、イランの対日ローン返済で話し合いがつき、最終合意文書に調印。ほぼ 3 年ぶりで工事が再開されることが決まった。
- 19 日 ○新千歳空港用地の遺跡発掘調査で、約 2000 年前の樹皮で包んだ縄文人の埋葬跡が見つかった。樹皮で包んだ埋葬跡は全国で初めての発見。
- 20 日 ○宇宙開発委員会特別部会が、わが国の宇宙開発長期ビジョンの報告書提出。それによると 90 年代初頭に、2 トン級衛星の打ち上げ能力を持つ大型ロケットの登場を目指す。
- 23 日 ○中国地方西部は記録的な集中豪雨に襲われ、島根、山口両県で死者 71 人、行方不明 42 人、家屋損壊は 519 戸の大災害となった。
- 25 日 ○第 2 回定例道議会閉会
- 28 日 ○総評第 69 回定期大会で、新議長に黒川武氏（私鉄総連）、新事務局長に真柄栄吉氏（自治労）が決まる。

北海道議会時報 昭和58年第4号

昭和58年10月21日発行（通巻第35巻第5号）

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第35巻第5号（昭和58年第2回定例会）